HITACHI
Inspire the Next

Prius
Fモデル

パソコン入門

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

FLORA

2 パソコンの基本を覚えよう

はじめてパソコンの画面を表示すると、カラフルな画面と[スタート]ボタンが出迎えてくれます。Microsoft® Windows® XP Home Edition(以下、Windows)は、[スタート]ボタンから操作します。はじめから難しい操作を覚える必要はありません。
このマニュアルでは、パソコン入門に必要な基本的内容を説明しています。はじめから順番にお読みください。パソコンの基本操作を身につけることができます。

1.パソコンを始めよう

ここでは、マウスやキーボードの操作を練習します。マウスやキーボードに慣れれば、パソコンの操作がぐんと楽になります。
パソコンの立ち上げ方や終わり方も覚えます。

2.ウィンドウとデスクトップを使おう

Windowsでは、一度にたくさんのウィンドウを開きながら操作します。
画面を机の上に見立ててデスクトップで操作します。
ここでは、ウィンドウの開き方、動かし方などやデスクトップを使いやすくする方法を覚えます。

3.ファイルを使おう

Windowsでは、ファイルの移動やコピーなどをエクスプローラというプログラムで行います。
ここでは、ファイルを操作するエクスプローラの基本的な使い方を覚えます。

4.コントロールパネルを使おう

コントロールパネルを使うと、マウスの使い方など、パソコンを使いやすい環境に変えることができます。
ここでは、パソコンを使う環境を変える方法を覚えます。

5.日本語を入力しよう

メールを出したり、はがきソフトで年賀状を作るときなど、パソコンを使うときは日本語を入力します。
ここでは、日本語を入力する方法を覚えます。

付録

用語集、さくいんがあります。必要に応じてお読みください。

このマニュアルの操作を一通り覚えた方は、次のマニュアルへお進みください。そのとき、操作に不安がある場合や困ったときは、このマニュアルで繰り返し練習してください。機種によっては、付属していないマニュアルもあります。

インターネットやメールを行いたいときは
→電子マニュアル『始めよう！ インターネット』

テレビを見たいときは
→『始めよう！ TVエンターテインメント』

操作中に問題が起きたときは
→『困った時のＱ＆Ａ』

はがきを作ったり、アプリケーションを使いたいときは
→『アプリケーションガイド』

このマニュアルはいろいろなタイプのパソコンに共通する内容を説明しています。各パソコン固有の使い方については、『接続と準備ー最初に読む本ー』と電子マニュアル『パソコン応用』をご参照ください。

2

このマニュアルの使い方

このマニュアルは、あなたがパソコンの基本操作を身につけるための案内書です。はじめから順にお読みください。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
◆	このマークがついている用語は付録の「用語集」で解説します。
CD/DVDドライブ	CD-R/RWドライブ、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブ、DVDマルチドライブをまとめて表記します。
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Editionを表記します。

マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
URL、メールアドレス、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

もくじ

1.パソコンを始めよう

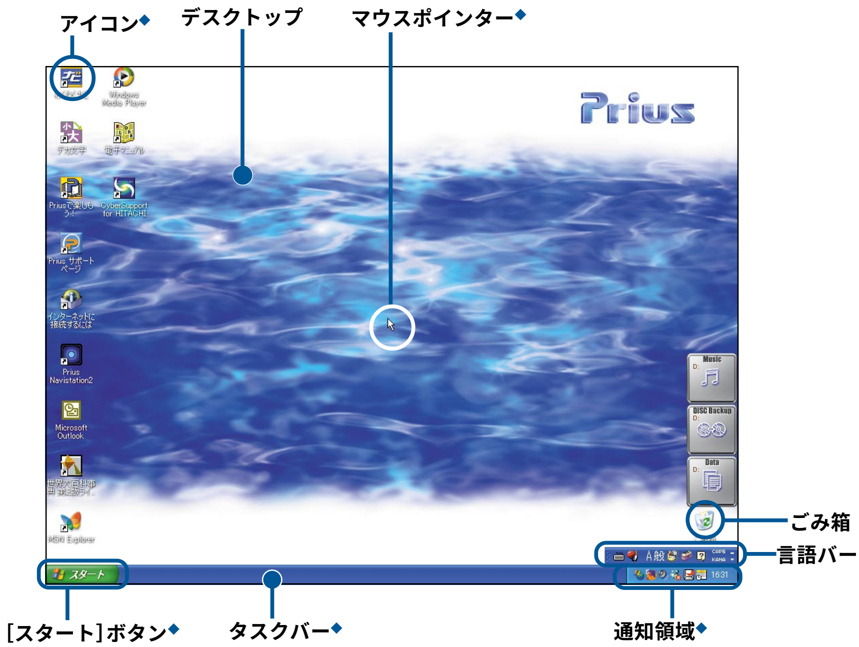
目の前にあるパソコンの電源を入れて始めましょう。
ここでは、パソコンやマウス、キーボードなどの使い方を説明します。
パソコンやマウス、キーボードを使って楽しんでみましょう。

パソコンを立ち上げる

パソコンの電源を入れます。
Windows◆が立ち上がり、パソコンを使えるようになります。

1 電源スイッチを押す

▼電源が入り、電源ランプが点灯します。しばらくするとパソコンが立ち上がり、デスクトップ画面が表示されます。



デスクトップ◆、それは作業するものを開く机のようなものです。パソコンのデスクトップには、作業をすばやく行えるいろいろなものがあります。

ここでは、これらの名前を覚えておきましょう。
[スタート]ボタンなどの使い方は、必要な場面で少しずつ覚えましょう。

ヒント

電源を入れる順番について
★ディスプレイやプリンターなどの周辺機器が接続されているときは、周辺機器から先に電源を入れ、最後にパソコンの電源を入れます。

ヒント

★Windowsが立ち上がるまでに時間がかかることがあります。
★立ち上げ画面は、機種によって異なります。以降、壁紙のない画面で説明します。
★ユーザー名の初期設定は、「OWNER」と入力したことにします。ユーザー名は変更できます。

参照

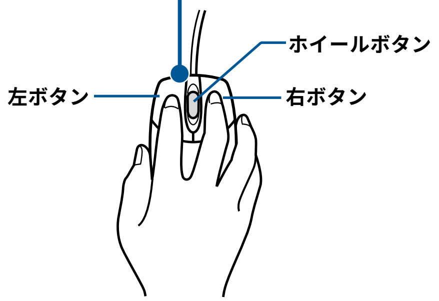
ユーザー名の変更について→「4.コントロールパネルを使おう」、「ユーザー名を変える」

マウスを使う

Windowsでは、主にマウス◆を使って操作します。
はじめにマウスの使い方を覚えましょう。

マウスの持ち方

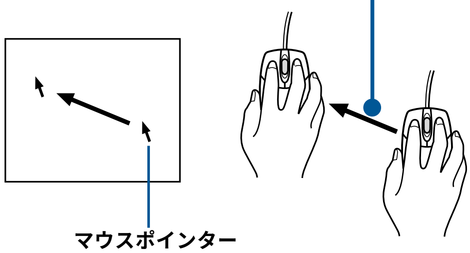
1 **マウスを右手のひらで包み込むように持ち、人差し指を左ボタンに、中指は右ボタンにかかるようにする**



マウスポインターの移動

1 **マウスを動かす**

▼マウスの動きに合わせてマウスポインターが画面上を動きます。



ポイント◆

マウスを動かし、マウスポインターを移動し目的の位置に合わせることを、「ポイント」といいます。

重要

◎ マウスを落としたり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。

◎ マウスケーブルを引っ張ったり、マウスをぶら下げて運んだりしないでください。

◎ マウスは凹凸がない水平な面で使用してください。

◎ マウス底面から発せられる赤い光を直接見ないでください。眼を傷める場合があります。

◎ センサー部分を汚したり、傷をつけないでください。

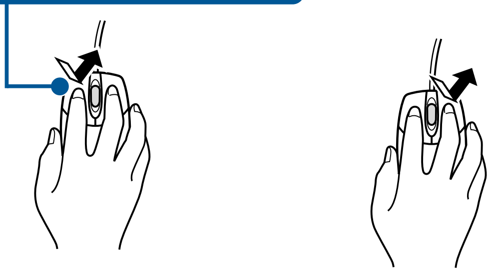
ヒント

★ 光学式マウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影を、オプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。

★ オプティカルセンサーは非接触でマウスの動きを検知します。特にマウスパッドを必要としませんが、マウス本体は接触しているため、傷がつきやすい机やテーブルの上では傷防止のためにマウスパッドなどを使用することをお勧めします。

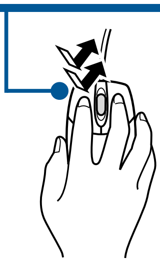
クリック◆

1 マウスのボタンを1回押す



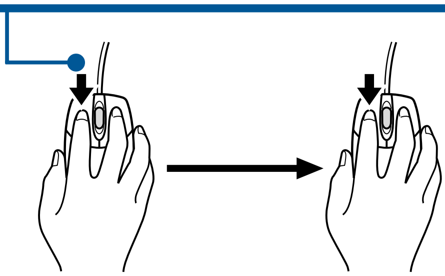
ダブルクリック◆

1 マウスの左ボタンを、2回続けて押す



ドラッグ◆

1 マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かす



ドラッグアンドドロップ◆

アイコンなどを左ボタンを押して選び、ボタンを押したまま別の場所に移動して指をはなすことを、「ドラッグアンドドロップ」といいます。ファイルの移動やコピーなどに使います。

ヒント

★ダブルクリックするときの速さは、[マウスのプロパティ]画面で調節できます。

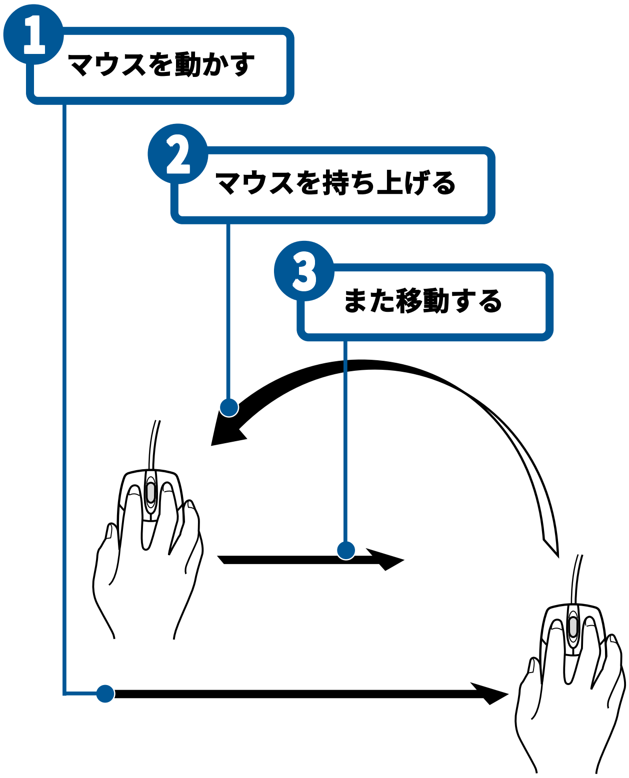
★Windowsで設定を変更すると、1回のクリックでフォルダーを開いたり、アプリケーションを立ち上げたりできます。設定の変更については、エクスプローラのヘルプを表示し、[検索オプションの設定]に「シングルクリック」を入力して検索します。検索された中から、[アイテムを開くときに必要なマウスクリックの回数を変更する]をご参照ください。

参照

マウスの設定の変更について→「4.コントロールパネルを使おう」、「マウス/ポインティングパッドの使い方を変える」

狭い場所でマウスを使う

マウスポインターをもっと動かしたいのに、マウスを動かす場所がなくなってしまったら、いったんマウスを持ち上げて、元の場所からもう一度動かします。



ヒント

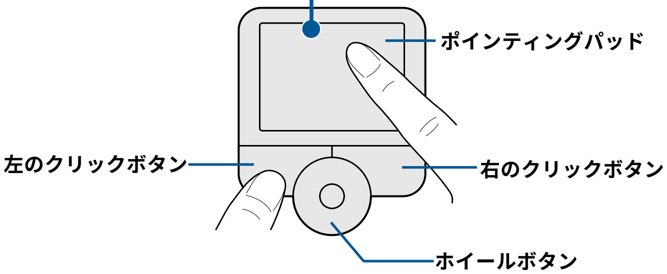
★ ドラッグしているときは、ボタンを押したまま持ち上げます。

ポインティングパッドを使う

ノート型のパソコンでは、ポインティングパッド◆を使って操作します。
はじめにポインティングパッドの使い方を覚えましょう。

指の置き方

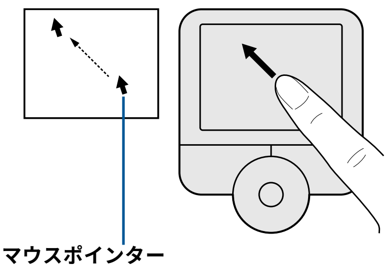
1 ポインティングパッドの上に軽く人さし指を置き、左クリックボタンの上に軽く親指を置く



マウスポインターの移動

1 ポインティングパッドの上で指を動かす

▼指の動きに合わせてマウスポインターが画面上を動きます。



ポイント

ポインティングパッドの上で指を動かし、マウスポインターを移動し目的の位置に合わせることを、「ポイント」といいます。

重 要

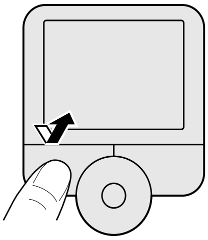
◎ポインティングパッドを使う場合は、USBマウスは取り外してください。

ヒント

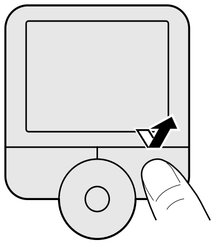
★ホイールボタンを使用すると、画面表示の移動が簡単になります。

クリック

1 クリックボタンを1回押す



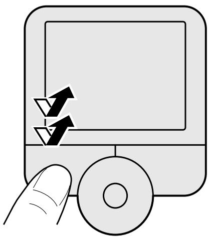
左クリック



右クリック

ダブルクリック

1 左のクリックボタンを、2回続けて押す



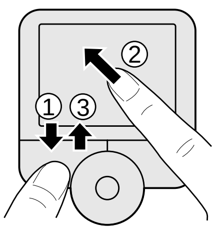
ドラッグ、ドラッグアンドドロップ

●ドラッグ

①左のクリックボタンを押したまま、②ポインティングパッドの上で指を動かすことを、「ドラッグ」といいます。画面上で範囲を指定するときなどに使います。

●ドラッグアンドドロップ

①アイコンなどを左のクリックボタンを押して選び、②ボタンを押したまま別の場所へ移動し、③指をはなすことを、「ドラッグアンドドロップ」といいます。
ファイルの移動やコピーなどに使います。



ヒント

★ダブルクリックするときの速さは、[マウスのプロパティ]画面で調節できます。

★Windowsで設定を変更すると、1回のクリックでフォルダーを開いたり、アプリケーションを立ち上げたりできます。設定の変更については、エクスプローラのヘルプを表示し、[検索オプションの設定]に「シングルクリック」を入力して検索します。検索された中から、[アイテムを開くときに必要なマウスクリックの回数を変更する]をご参照ください。

参照

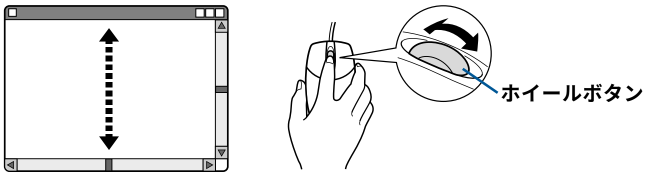
ポインティングパッドの設定の変更について→「4.コントロールパネルを使おう」、「マウス/ポインティングパッドの使い方を変える」

スクロールする

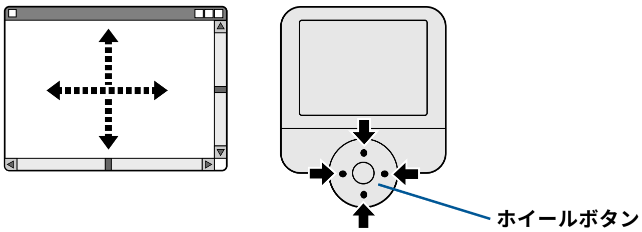
ウィンドウ◆に表示されている内容を上下に移動して、見えない部分を表示することをスクロール◆といいます。
ホイールボタンを使うと、簡単にスクロールできます。

●縦、横にスクロールする

マウスのホイールボタンを回転させると縦にスクロールします。

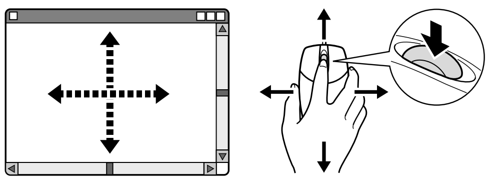


ノートパソコンのホイールボタンの上側または下側を押すと縦にスクロールし、左側または右側を押すと横にスクロールします。



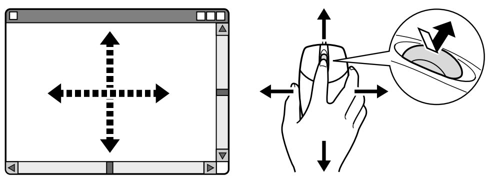
●好みのスピードでスクロールする

ホイールボタンを真下に押しながらマウスを上下左右に動かすと、好みのスピードでスクロールします。マウスの動きを止めても、ホイールボタンをはなすまでスクロールは続きます。



●自在にスクロールする

ホイールボタンをクリックしたあと、マウスを上下左右に動かすと、マウスを動かした方向とスピードに合わせてスクロールします。マウスの動きを止めてもスクロールは続きます。もう一度ホイールボタンをクリックすると、スクロールが止まります。



ヒント

★アプリケーションによっては、スクロールできないことがあります。

マウス/ポインティングパッドで遊ぶ

マウスまたはポインティングパッドの練習を兼ねて「ソリティア」で遊びましょう。
ソリティアは、トランプを種類ごとに数字の順で重ねていくゲームです。

ソリティアを立ち上げる

1 [スタート]ボタンをクリック

2 [すべてのプログラム]をポイント



3 [ゲーム]をポイント

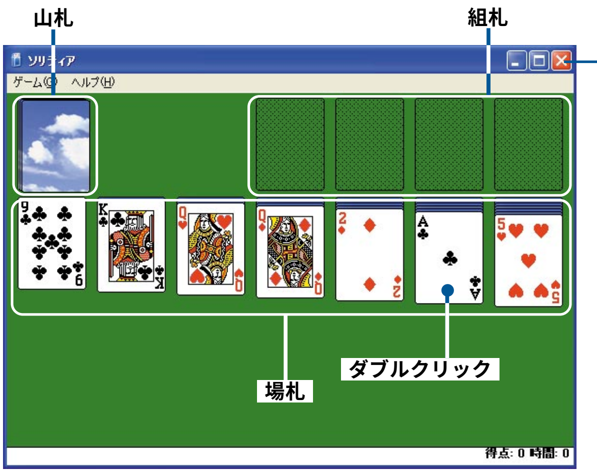
4 [ソリティア]をクリック

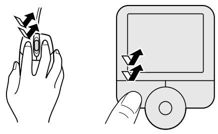
ソリティアの遊び方

ソリティアは、山札と場札にあるカードを、組札枠の中に集めます。ハート、スペード、ダイヤ、クラブの種類ごとに、エース(1)からキング(13)まで数字の小さい順に重ねていくゲームです。全部重ね終わったら勝ち、途中でカードが重ねられなくなったら負けです。標準では、クリックするたびに山札が3枚ずつめくられます。

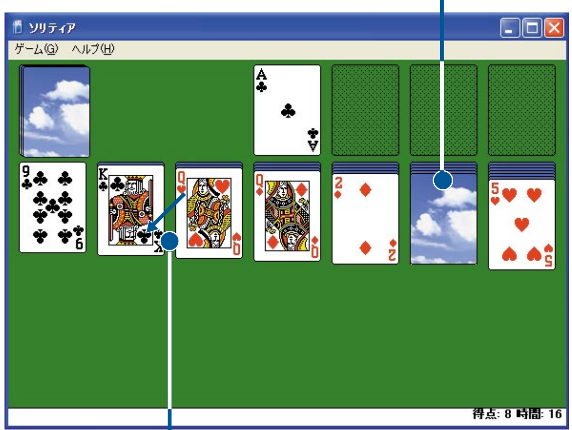
1 場札にエースがあったら、そのカードをダブルクリックするか、組札へドラッグアンドドロップする

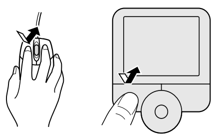
▼カードが、組札に移動します。



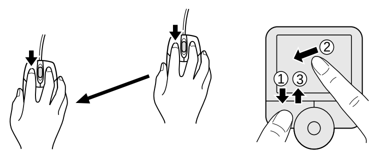


**2 場札に裏返しのカードが出たら、クリックしてめくる
組札にあるカードと同じ種類で、1つ大きいカードがあれば、ダブルクリックして組札に移動する**

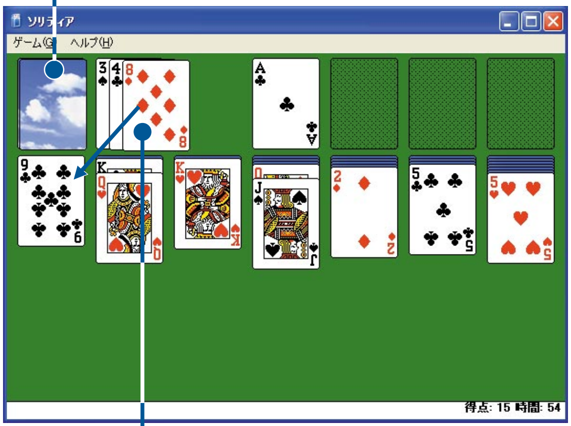




3 場札のカードは、赤黒交互に大きい順にドラッグアンドドロップして重ねる

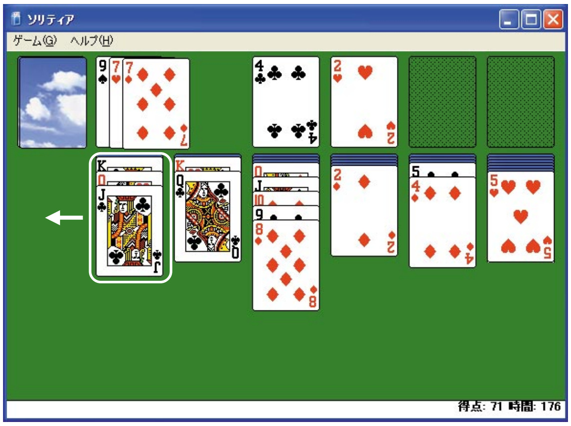


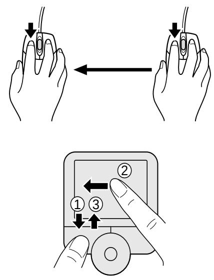
4 場札に移動できるカードがなくなったら、山札をクリックする



5 山札のカードが、組札に移動できるときはダブルクリック、場札に移動できるときはドラッグアンドドロップする

6 キング(13)が一番下にあると、場札の空いた場所に移動できる
一番下のキング(13)をドラッグアンドドロップして移動する





7 すべてのカードを組札に重ね終わるとゲーム終了

キーボードを使う

キーボード◆を使うと、文字を入力できます。お使いのキーボードによっては、ワンタッチでプログラムを立ち上げられます。
デスクトップ系のキーボードを例に説明します。操作や説明が大きく異なるところは、デスクトップ、ノートの両方で説明します。

キーボードの種類

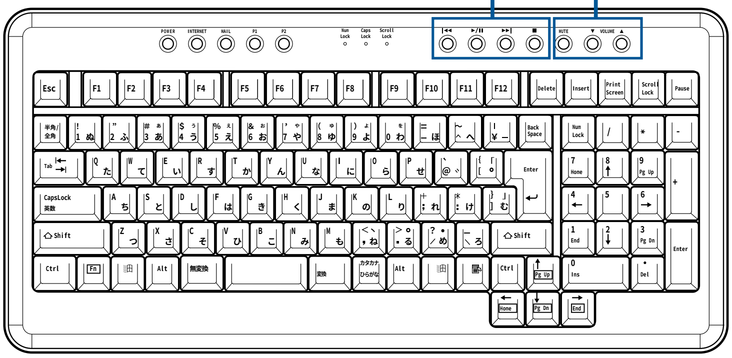
キーボードは、お使いのパソコンによって異なります。
ここでは、代表的なキーボードにしています。

●デスクトップの場合

770F/670F/650F

CD操作キー

ボリューム操作キー

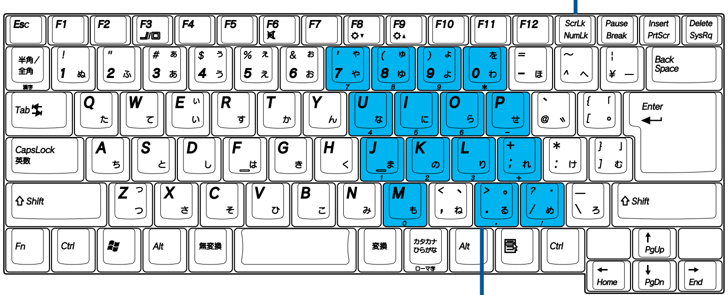


●ノートの場合

100F

NumLk

Fn + ScrLk



テンキー

キーの手前に印刷されている数字などが入力できる

重要

◎コマンドプロンプト実行中は、キーボード上部のCD操作キーや、ボリューム操作キーを押さないでください。不正な文字が表示されることがあります。

キーを押してみる

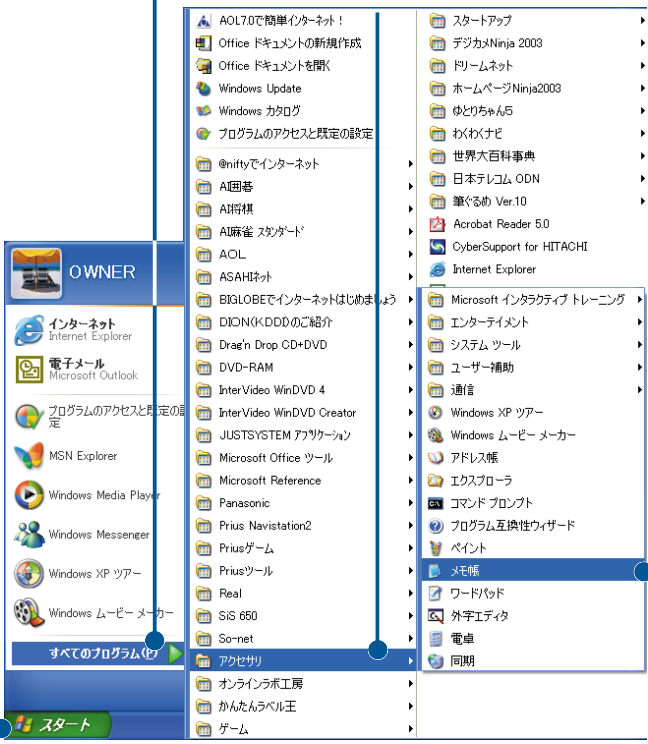
メモ帳◆でキーの押し方を練習しましょう。

●メモ帳を立ち上げる

1 [スタート]ボタンをクリック

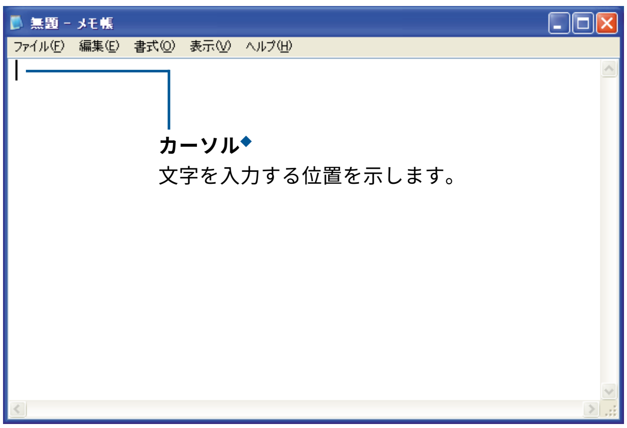
2 [すべてのプログラム]をポイント

3 [アクセサリ]をポイント



4 [メモ帳]をクリック

▼メモ帳が立ち上がります。



カーソル◆

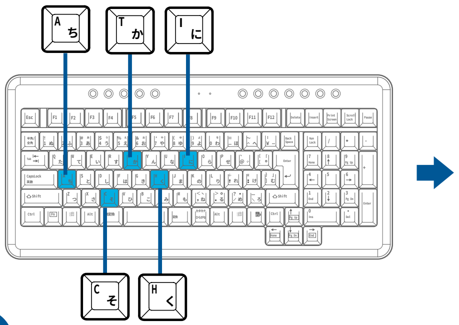
文字を入力する位置を示します。

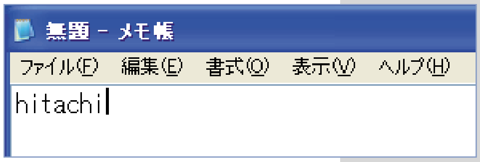
●英字を入力する

キーを押して英字を入力しましょう。

1 **[H] [I] [T] [A] [C] [H] [I]キーを押す**

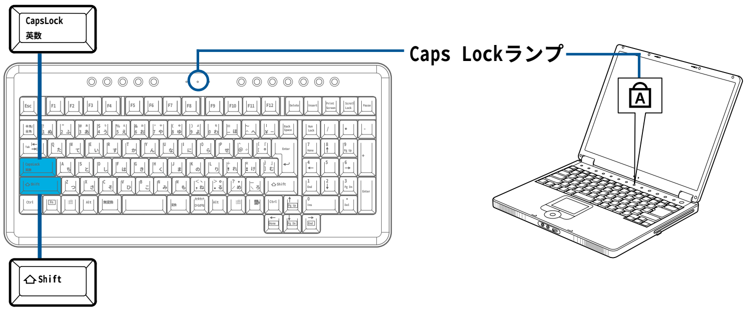
▼「hitachi」と入力されます。





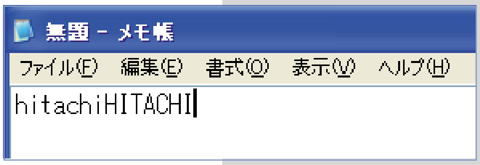
2 **[Shift]キーを押しながら[Caps Lock]キー◆を押す**

▼Caps Lockランプ◆が点灯し、英字の大文字が入力できるようになります。



3 **[H] [I] [T] [A] [C] [H] [I]キーを押す**

▼「HITACHI」と入力されます。



ヒント

★ [Shift]キーを押しながら[Caps Lock]キーを押すたびに、英字の大文字と小文字が切り替わります。
[Shift]キーを押しながら英字キーを押すと、1文字ずつ大文字または小文字にできます。

参照

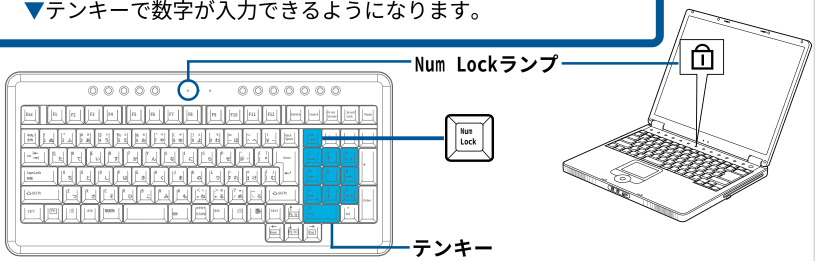
インジケーターの表示について
→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」、「表示設定」

●数字を入力する

数字は、キーボード上部にある数字が書かれたキーか、テンキーを押して入力します。

1 **Num Lockランプ◆の点灯を確認する**
点灯していないときは、[Num Lock]キー◆を押す
ノートパソコンの場合は、[Fn]+[ScrLk]キーを押す

▼テンキーで数字が入力できるようになります。



ヒント

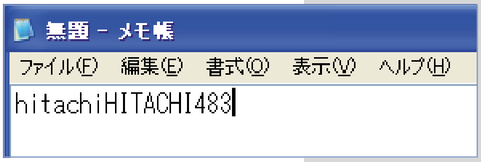
★ [Num Lock]キーを押すたびにNum Lockランプが点灯/消灯します。点灯しているときは、テンキーで数字などを入力できます。消灯しているときは、カーソルキーなどと同じ働きをします。

参照

インジケーターの表示について
→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」、「表示設定」

2 [4][8][3]キーを押す

▼「483」と入力されます。

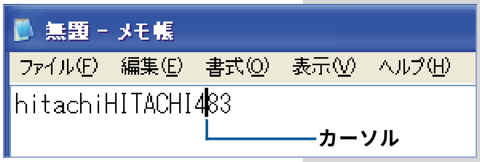


●文字を削除する

入力した文字を削除しましょう。

1 [←]キーを2回押す

▼カーソルが「4」と「8」の間に移動します。

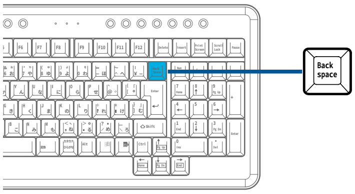


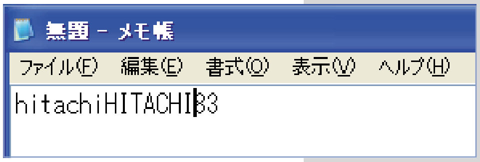
ヒント

★ カーソルキー[↑][↓][←][→]を押すと、カーソルが上下左右に移動します。

2 [Backspace]キーを押す

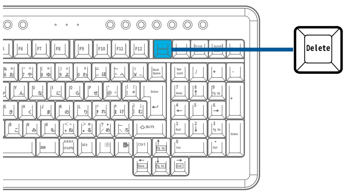
▼カーソルの前(左)の文字が削除されます。

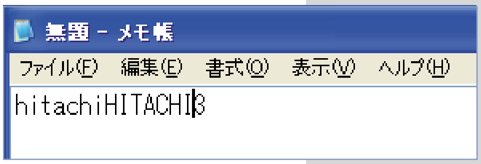




3 [Delete]キーを押す

▼カーソルの後(右)の文字が削除されます。



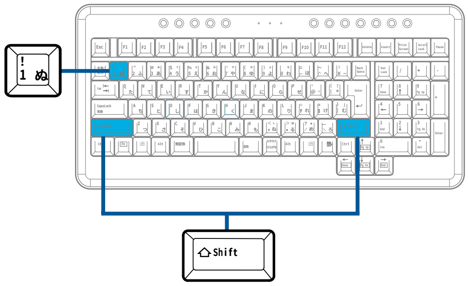


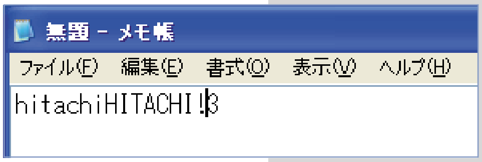
●特殊文字を入力する

キー上の特殊文字や特殊記号などを入力しましょう。

1 [Shift]キーを押しながら[!]キーを押す

▼「!」が入力されます。





ヒント

★[Shift]キーは、左右どちらかのキーを押してください。両方のキーを同時に押す必要はありません。

★[Shift]キーを押しながら、[＾]や[＼]キーを押すと、"～"や"＿"の記号が入力されます。[＾]や[＼]など[Shift]キーを押してもキー上の特殊文字が入力できないときは、[文字一覧]から入力してください。

キー上に文字や記号がない場合は、文字一覧から入力しましょう。

2 言語バーの[IMEパッド]をクリックし、[文字一覧]をクリック

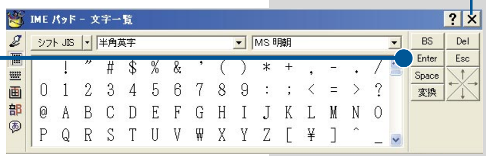
▼[文字一覧]画面が表示されます。



3 入力したい特殊文字や記号をダブルクリックし、[Enter]をクリック

▼特殊文字や記号が入力されます。

ここをクリックすると閉じます。

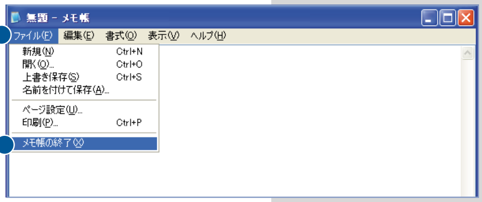


●キーの押し方の練習を終わる

1 [ファイル]メニューをクリック

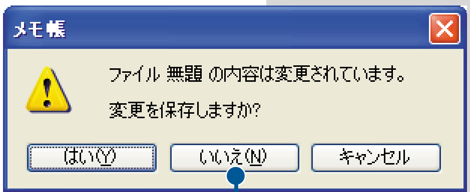
2 [メモ帳の終了]をクリック

▼保存確認のメッセージが表示されます。



3 [いいえ]ボタンをクリック

▼メモ帳が終了します。



これで、キーを使った練習を終わります。
日本語の入力は、「5．日本語を入力しよう」をご参照ください。

キーの種類と働き

基本的なキーの配置と働きを紹介します。

●デスクトップの場合

キー	使い方
テンキー	数字を入力するときに使います。
[F1] ～ [F12]	ファンクションキーといいます。アプリケーションソフトなどで、特定の機能を割り当てて使います。
[↑] [↓] [←] [→]	カーソルキーといいます。カーソルをキーの矢印の方向に動かすときに使います。
[Ctrl] [Alt] [Fn] [Shift]	ほかのキーと組み合わせて使います。
文字キー	文字を入力するときに使います。
[Backspace]	カーソルの前(左)の文字を削除するときに使います。
[Delete]	カーソルの後ろ(右)の文字を削除するときに使います。
[Insert]	文字の入力方法を、挿入モードか上書きモードに切り替えます。
[Enter]	日本語入力の確定や改行などに使います。
[Esc]	操作を取り消したりするときに使います。
[Tab]	タブを挿入するときなどに使います。
[Caps Lock]	[Shift]キーを押しながらこのキーを押すと、標準では英大文字の入力モードになります。
[Num Lock]	テンキーで数字を入力するモードに切り替えます。
[Scroll Lock]	画面表示の制御に使います。
[変換(次候補)]	日本語入力で読みを漢字に変換します。
[半角/全角]	日本語入力をオン/オフするときに使います。
[無変換]	日本語入力のときに、無変換モードにします。
[　　] (スペース)	1文字分のスペース(空白)を入力したり、読みを漢字に変換するときに使います。
[Home]	カーソルを行の先頭に移動するときに使います。
[End]	カーソルを行の末尾に移動するときに使います。
[Pg Up] [Pg Dn]	ページをスクロールするときに使います。
	Windowsキーといいます。スタートメニューを表示させるときに使います。
	プログラムキーといいます。マウスを右クリックしたときと同じ働きをします。
○■(Stop)	DVD-ROMやCD-ROMなどの再生を停止するときに使います。
○▶/■(Play&Pause)	DVD-ROMやCD-ROMなどを再生したり、一時停止するときに使います。
○◀◀(Rew)	DVD-ROMやCD-ROMなどの再生時に前のトラックに戻すときに使います。
○▶▶(FF)	DVD-ROMやCD-ROMなどの再生時に次のトラックへ進めるときに使います。
○▼(VOLUME)	スピーカーの音量を下げるときに使います。
○(MUTE)	スピーカーの音を消したり元に戻すときに使います。
○▲(VOLUME)	スピーカーの音量を上げるときに使います。
○(INTERNET)	インターネットをワンタッチで立ち上げるときに使います。
○(MAIL)	メールソフトをワンタッチで立ち上げるときに使います。
○(POWER)	パソコンが立ち上がっているときに押すと、Windowsの終了画面を表示します。
[P1] ～ [P2]	各キーに割り当てられているアプリケーションをワンタッチで立ち上げるときに使います。

ヒント

★[Home]、[End]、[Pg Up]、[Pg Dn]は、[Fn]キーを押しながら[←]、[→]、[↑]、[↓]キーを押します。

参照

ワンタッチキーの設定変更について→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」

●ノートの場合

キー	使い方
F1 ～ F12	ファンクションキーといいます。アプリケーションソフトなどで、特定の機能を割り当てて使います。
↑ ↓ ← →	カーソルキーといいます。カーソルをキーの矢印の方向に動かすときに使います。
Ctrl Alt Fn Shift	ほかのキーと組み合わせて使います。
文字キー	文字を入力するときに使います。
テンキー	数字を入力するときに使います。[NumLk]キーを押すと入力できます。
BackSpace	カーソルの前(左)の文字を削除するときに使います。
Delete	カーソルの後(右)の文字を削除するときに使います。
Insert	文字の入力の方法を、挿入モードか上書きモードに切り替えます。
Enter	日本語入力の確定や改行などに使います。
Esc	操作を取り消したりするときに使います。
Tab	タブを挿入するときなどに使います。
CapsLock	[Shift]キーを押しながらこのキーを押すと、標準では英大文字の入力モードになります。
NumLk	テンキーで数字を入力するモードに切り替えます。[Fn]キーを押しながら[ScrLk]キーを押します。
ScrLk	画面表示の制御に使います。
変換	日本語入力で読みを漢字に変換します。
半角/全角	日本語入力をオン/オフするときに使います。
無変換	日本語入力のときに、無変換モードにします。
(スペース)	1文字分のスペース(空白)を入力したり、読みを漢字に変換するときに使います。
Home	カーソルを行の先頭に移動するときに使います。
End	カーソルを行の末尾に移動するときに使います。
PgUp PgDn	ページをスクロールするときに使います。
	Windowsキーといいます。スタートメニューを表示させるときに使います。
	プログラムキーといいます。マウスを右クリックしたときと同じ働きをします。
	スピーカーの音を消したり元に戻すときに使います。[Fn]キーを押しながら[F6]キーを押します。
	ディスプレイを切り替えるときに使います。[Fn]キーを押しながら[F3]キーを押します。キーを押すたびに、ディスプレイの表示先(液晶、CRT、TV)が切り替わります。
	液晶ディスプレイの明るさを明るくするときに使います。[Fn]キーを押しながら[F9]キーを押します。
	液晶ディスプレイの明るさを暗くするときに使います。[Fn]キーを押しながら[F8]キーを押します。
◯(Internet)	インターネットをワンタッチで立ち上げるときに使います。
◯(MAIL)	メールソフトをワンタッチで立ち上げるときに使います。
P1 ～ P2	各キーに割り当てられているアプリケーションをワンタッチで立ち上げるときに使います。

ヒント

★NumLkは、[Fn]キーを押しながら[ScrLk]キーを押します。

ヒント

★Home、End、PgUp、PgDnは、[Fn]キーを押しながら[←]、[→]、[↑]、[↓]キーを押します。

使えるディスク

フロッピーディスク◆やCD-R、CD-RW、DVD-R/RW、DVD-RAMは、作成したデータを保存したり、データを相手に渡すときなどに使います。
ここでは、これらのディスクについて紹介します。

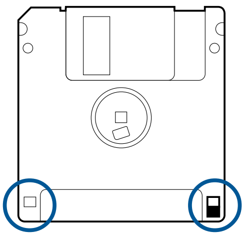
CD-R、CD-RW

CD-R、CD-RWはCD-R/RWドライブやDVD-ROM＆CD-R/RWマルチドライブ、DVDマルチドライブのあるパソコンで使用できます。
使用できるディスクについては、電子マニュアル『パソコン応用』7章の「ドライブの仕様」をご参照ください。
なお、CD-RやCD-RWにデータを書き込むには、「Drag 'n Drop CD＋DVD」などの専用ソフトが必要です。

フロッピーディスク

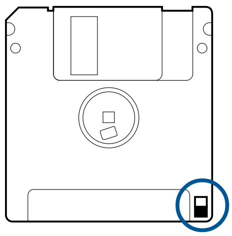
フロッピーディスクを使用するには、別途フロッピーディスクドライブが必要です。使用できるフロッピーディスクは、次の2種類です。

2HD



1.44MBにフォーマットして使うもの

2DD



720KBにフォーマットして使うもの

重要

◎ フロッピーディスクにはいろいろな制約があります。詳しくは『困った時のQ＆A』をご参照ください。

◎ 2DDは読み書きできますが、フォーマットできません。

ヒント

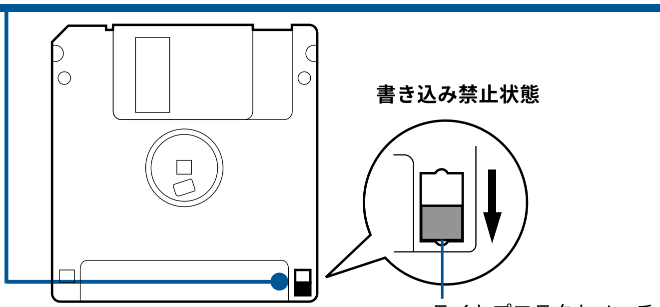
★ オプションのフロッピーディスクドライブについては、電子マニュアル『パソコン応用』7章の「オプション情報」をご参照ください。

●フロッピーディスクへの書き込みを禁止する

大切なデータを誤って消してしまわないように、フロッピーディスクへの書き込みを禁止しましょう。

1 フロッピーディスクの裏側のライトプロテクトノッチ◆を矢印の向きにスライド

▼フロッピーディスクへの書き込みが禁止されます。



DVD-R

使用できるDVD-Rは次の通りです。
DVD-Rは、DVDマルチドライブのあるパソコンで使用できます。
なお、DVD-Rにデータを書き込むには、「Drag 'n Drop CD＋DVD」などの専用ソフトが必要です。

・DVD-R 4.7GB for General・・・・・・ライト/リード
・DVD-R 4.7GB for Authoring・・・・リード
・DVD-R 3.95GB for Authoring・・・リード

DVD-RW

使用できるDVD-RWは次の通りです。
DVD-RWは、DVDマルチドライブのあるパソコンで使用できます。
なお、DVD-RWにデータを書き込むには、「Drag 'n Drop CD＋DVD」などの専用ソフトが必要です。

・DVD-RW 4.7GB(Ver 1.1)・・・・・・ライト/リード

DVD-RAM

使用できるDVD-RAMは、次の通りです。
DVD-RAMは、DVDマルチドライブのあるパソコンで使用できます。

- ・DVD-RAM 9.4GB(両面)
- ・DVD-RAM 5.2GB(両面)
- ・DVD-RAM 4.7GB(片面)
- ・DVD-RAM 2.8GB(両面):8cm
- ・DVD-RAM 2.6GB(片面)

●データ書き込み用として使う場合

パソコンでUDF1.5形式でフォーマットしてから使用します。

●ビデオ記録用として使う場合

パソコンでUDF2.0形式でフォーマットするか、DVD-RAMレコーダーやDVDカメラなどでフォーマットしてから使用します。一般的にビデオ用DVD-RAMはフォーマットされた状態で販売されています。
なお、DVD-RAMにビデオ映像データを書き込むには、「DVD-MovieAlbumSE」などの専用ソフトが必要です。

例:DVD-RAM 4.7GB(片面):約120分
　DVDビデオレコーダー用

DVD-RAM 2.8GB(両面):約60分
DVDビデオカメラ用の8cmディスク

重要

◎ DVD-RAMは、指紋など汚れが付くとエラーになりやすいので、汚れが付かないように取り扱ってください。

◎ データ書き込みと、ビデオ映像の録画を1枚のDVD-RAMに行わないでください。データやビデオ映像が読み出せなかったり、再フォーマットを要求されることがあります。

◎ DVDマルチドライブでは、ノンカートリッジまたは、カートリッジから取り出すことのできるDVD-RAMメディアが使用できます。DVD-RAM TYPE I メディアは、カートリッジから取り出せないため、使用できません。

◎ DVDマルチドライブは、2.6GB(片面)、5.2GB(両面)のDVD-RAMは、読み込みのみです。

◎ DVD-MovieAlbumSEを使ってDVD-RAMにデータを保存できるメディアは、UDF2.0形式でフォーマットされた2.8GB(両面)、4.7GB(片面)、9.4GB(両面)のDVD-RAMのみです。

ヒント

★ カートリッジからDVD-RAMを取り出す方法は、DVD-RAMカートリッジに添付の取扱説明書などをご参照ください。

★ PriusのDVDマルチドライブ搭載モデルで読み書きできるDVD-RAMのフォーマット形式は、FAT32とUDF1.02/1.5/2.0/2.01です。
DVD-RAMがフォーマットできる形式は、FAT32とUDF1.5/2.0です。

CD/DVDの読み込み、書き込み

CD/DVDドライブで読み込み、書き込みできるディスクは、次のとおりです。
次の表は一般的な一例です。詳しくは、電子マニュアル『パソコン応用』7章の「ドライブの仕様」をご参照ください。

メディア＼ドライブ		DVDマルチ	DVD-ROM	CD-R/RW	DVD-ROM&CD-R/RWマルチ
CD-ROM		△	△	△	△
CD-R		○	△	○	○
CD-RW		○	△	○	○
DVD-ROM		△	△	×	△
DVD-R*1		○	△	×	△
DVD-RW		○	×	×	×
DVD-RAM*2	9.4GB(両面)	○	×	×	×
	5.2GB(両面)	△			
	4.7GB(片面)	○			
	2.8GB(両面)	○			
	2.6GB(片面)	△			

○:読み込み、書き込み可能
△:読み込みのみ可能
×:使用不可

＊1：DVDビデオを作成する場合は、4.7GB for GeneralのDVD-Rのみ作成可能です。
＊2：DVD-MovieAlbumSEを使ってDVD-RAMにデータを保存できるメディアは、UDF2.0形式でフォーマットされた2.8GB(両面)、4.7GB(片面)、9.4GB(両面)のDVD-RAMのみです。

Windows XP ツアーでWindowsを体験する

Windows XP ツアーを使うと、音声ガイダンスやアニメーションを見ながら、Windows XPの基本的な使い方やパソコンの活用方法などを体験することができます。

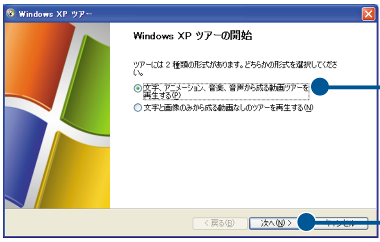
1 [スタート]ボタンをクリック



2 [Windows XP ツアー]をクリック

▼[Windows XP ツアーの開始]画面が表示されます。

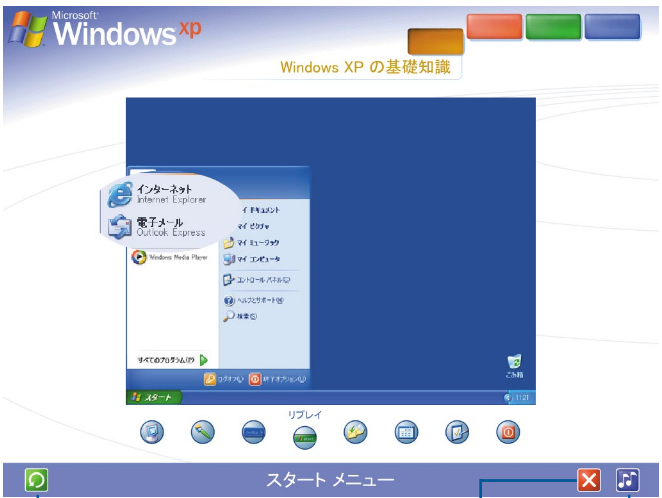
3 [文字、アニメーション、音楽、音声から成る動画ツアーを再生する]をクリック



4 [次へ]ボタンをクリック

▼Windows XP ツアーが始まります。

5 アイコンなどをクリックしてツアーを体験する



ツアーの初めに戻る

ツアーを終了する

BGMのON/OFFを切り替える

ヒント

★ Windows XP ツアーは、[スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[Windows XP ツアー]をクリックしても始めることができます。

★ Windows XP ツアーは、次の4つのブロックに分れています。

- Windows XPの基礎知識
  ウィンドウやコントロールパネルなど、Windowsの基本操作を体験できます。
- 安全で簡単なパーソナルコンピュータ
  Windowsのアップデートや困ったときの対処方法などを体験できます。
- デジタルメディアの世界へ
  デジタルカメラやゲーム、ビデオ編集などマルチメディアの世界を体験できます。
- 自宅でオフィスでネットワーク
  ネットワークでつないだパソコンの使い方などを体験できます。

わからないときは、ヘルプで

Windowsの使い方がわからないときは、ヘルプを使って調べましょう。
ヘルプ◆を使うと、調べたい内容を目次から探したり、思いつく言葉で調べることができます。
ヘルプでの調べ方には、次の方法があります。

・目次から使い方を調べる
・用語から使い方を調べる
・指定した用語のあるページを調べる
・操作画面の項目の意味を調べる

目次から使い方を調べる

わからないことをヘルプの目次から調べましょう。

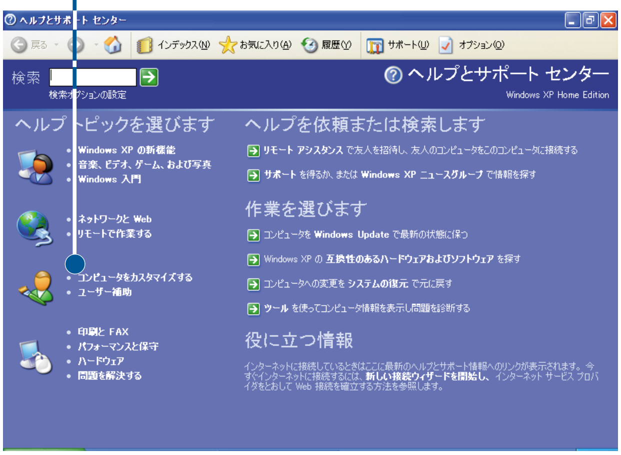
1 [スタート]ボタンをクリック

2 [ヘルプとサポート]をクリック

▼Windowsのヘルプが表示されます。



3 調べたい項目をクリック



4 調べたい項目のテーマをクリック



5 調べたい項目をクリック



6 説明を読む

ヒント

★ 説明が隠れているときは、スクロールしてください。ウィンドウを大きくして見やすくすることもできます。

参照

ウィンドウを広げる→「2.ウィンドウとデスクトップを使おう」の「ウィンドウの大きさを変える」

スクロールについて→「2.ウィンドウとデスクトップを使おう」の「スクロールして隠れている部分を見る」

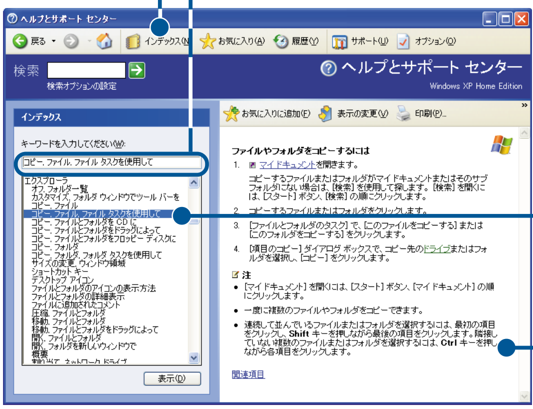
用語から使い方を調べる

わからないことを、思いつく用語から調べましょう。

1 [スタート]ボタン－[ヘルプとサポート]をクリック

2 [インデックス]をクリック

3 用語を入力



4 調べたい項目をダブルクリック

▼項目の説明が表示されます。

5 説明を読む

指定した用語のあるページを調べる

わからないことを、指定した用語のあるページから調べましょう。

1 **[スタート]ボタン－[ヘルプとサポート]をクリック**

2 **用語を入力**



3 **をクリック**

4 **調べたい項目をクリック**
▼項目の説明が表示されます。

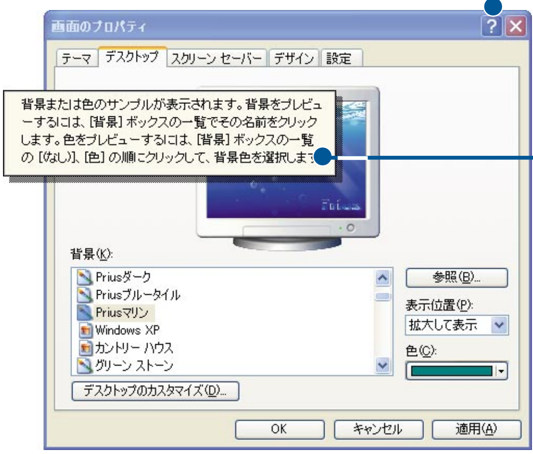
5 **説明を読む**

操作画面の項目の意味を調べる

いろいろな設定などを行う画面で、わからない項目の意味を調べてみましょう。
例として、[画面のプロパティ]画面を説明します。

1 **画面右上の ? をクリック**
▼マウスポインタの形が ? に変わります。

2 **調べたい項目をクリック**
▼説明のポップアップが表示されます。



電子マニュアルを使う

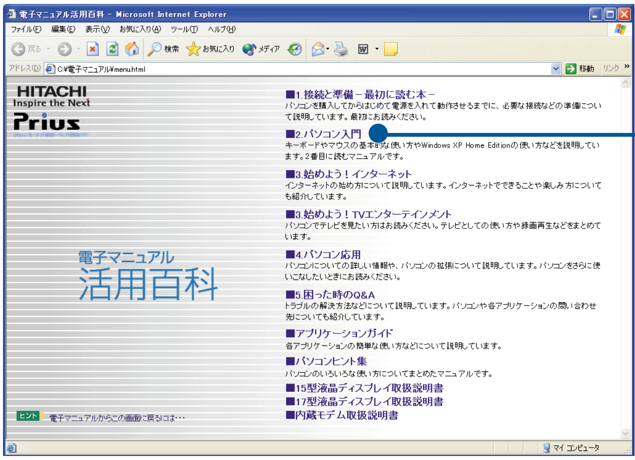
電子マニュアル『活用百科』(以下、電子マニュアル)でパソコンの使い方などを調べましょう。
電子マニュアルは、付属のマニュアルをパソコンで読めるようにしたものです。紙マニュアルを出さずに、マニュアルの情報を画面で確認できます。読みにくいときは、文字を拡大できます。

電子マニュアルを開く

電子マニュアルを開きましょう。

1 デスクトップ画面の[電子マニュアル]アイコンをダブルクリック

▼[活用百科]メニューが表示されます。



2 読みたいマニュアルをクリック

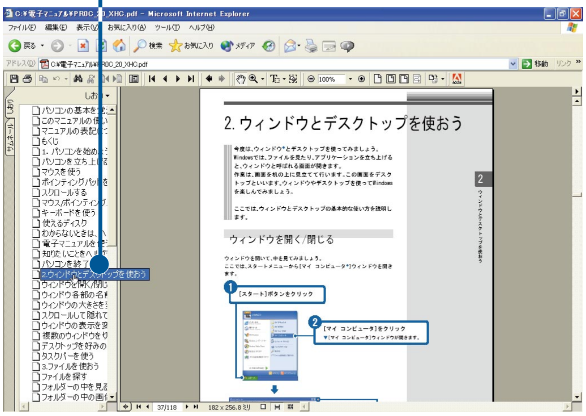
▼使用許諾の画面が表示されます。

3 [同意する]ボタンをクリック

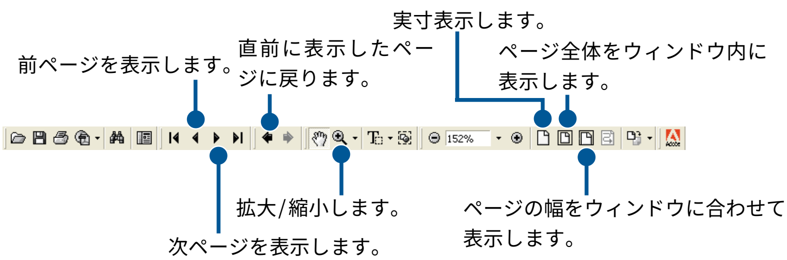
▼選択した電子マニュアルが表示されます。

4 マウスポインターが指差しアイコンに変わったところをクリック

▼選択した電子マニュアルのページが表示されます。



5 ボタンをクリックしてページを読み進める



6 閉じるときは、❎をクリック

ヒント

★ 使用許諾の画面が初回立ち上げ時に表示されます。2回目以降は表示されません。

ヒント

★ 拡大するときは、🔍をクリックし、拡大する場所をクリックします。縮小するときは、[Ctrl]キーを押しながら縮小する部分をクリックします。

参照

詳しい使い方について→[Acrobat Reader]の[ヘルプ]メニュー－[Readerのヘルプ]

『活用百科』CDからのセットアップ

パソコンを再セットアップしたときなどは、電子マニュアルはインストールされません。
デスクトップ画面に[電子マニュアル]のアイコンがないときは、次の方法でインストールします。

1 **CD/DVDドライブに『活用百科』CDを入れる**

Windowsの実行する動作選択画面が表示されたときは、[何もしない]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

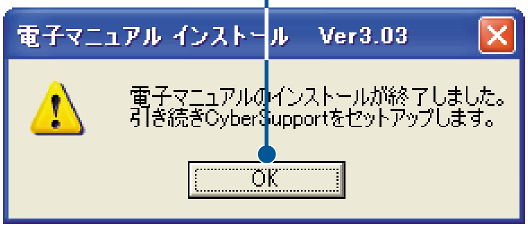
2 **『活用百科』CDの中の[Elemanu]アイコンをダブルクリック**

▼[電子マニュアルインストール Ver X.XX]画面が表示されます。

3 **[OK]ボタンをクリック**

▼電子マニュアルがインストールされます。

4 **「電子マニュアルのインストールが終了しました。引き続きCyberSupportをセットアップします。」とメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリック**



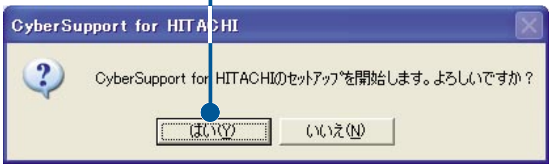
ヒント

★「Acrobat Reader」についてのご質問は、「安心コールセンタ」までお問い合わせください。アドビシステムズ株式会社では、お問い合わせを直接受け付けていません。

5

「CyberSupport for HITACHIのセットアップを開始します。よろしいですか?」とメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリック

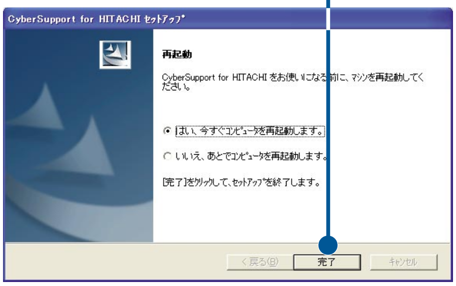
▼CyberSupportがインストールされ、データベースが作成されます。



6

次のメッセージが表示されたら、[完了]ボタンをクリック

▼パソコンが立ち上げ直されます。



知りたいことをヘルプやマニュアルから探す

CyberSupport for HITACHI(以下、CyberSupport)を使うと、パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルの中から探し出せます。

CyberSupportを使って探す

1 デスクトップの[CyberSupport for HITACHI]アイコンをダブルクリック

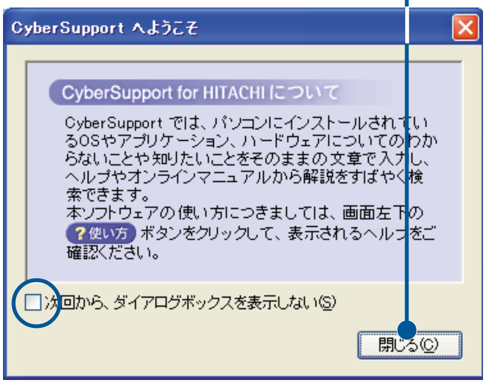
▼[使用許諾の確認]が表示されます。

2 [同意する]ボタンをクリック

▼[CyberSupportへようこそ]が表示されます。

3 「次回から、～」をクリックしてチェックを付け、[閉じる]ボタンをクリック

▼[CyberSupport for HITACHI]画面が表示されます。



ヒント

★ CyberSupportについてのご質問は、「安心コールセンタ」までお問い合わせください。株式会社ジャストシステムでは、お問い合わせを直接受け付けていません。

ヒント

★ 機種によっては、ワンタッチキーに「CyberSupport」が設定されています。

★ [使用許諾の確認]画面が初回立ち上げ時に表示されます。2回目以降は表示されません。

4 [対象選択]タブをクリックし、検索対象にしたいマニュアル、ヘルプにチェックを付ける



5 [検索]タブをクリックし、質問を入力する

ここでは「インターネットを始める」と入力します。

6 [検索]ボタンをクリック

▼類似度が高い順に検索結果が表示されます。



7 検索結果のタイトルをクリック

▼検索されたページが表示されます。



ヒント

★質問にどのような言葉を入力すると、どこが検索されるかいくつか例をあげてみます。

- 「メールを送ろう」
  →『始めよう！インターネット』の「同じメールを複数の人に送ろう」
- 「ホームページを見たい」
  →『始めよう！インターネット』の「見たいホームページを探そう」
- 「プロバイダーに加入！」
  →『始めよう！インターネット』の「プロバイダーに加入する」
- 「USB」
  →『パソコン応用』の「USB機器を接続する」

★質問には、知りたい内容をできるだけ詳しく入力したほうが、期待する答えが返ってきやすくなります。

ヒント

★[質問文例]ボタンをクリックすると、『パソコン入門』など、電子マニュアルごとに、質問の文例が掲載されています。質問を入力する代わりに、文例から探すこともできます。

アプリケーションの電子マニュアルやヘルプから探す

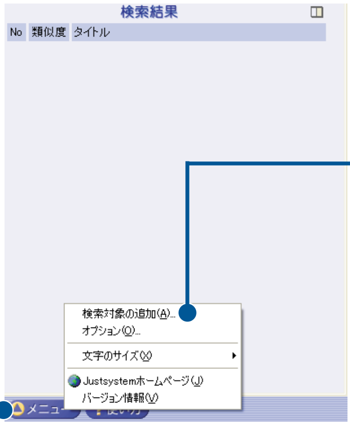
パソコンにインストールされているアプリケーションの電子マニュアルなどを検索対象に追加すると、CyberSupportで探せるようになります。

●インストールされているアプリケーションの電子マニュアルなどを追加する

1 デスクトップの[CyberSupport for HITACHI]アイコンをダブルクリック

▼[CyberSupport for HITACHI]画面が表示されます。

2 [メニュー]ボタンをクリック

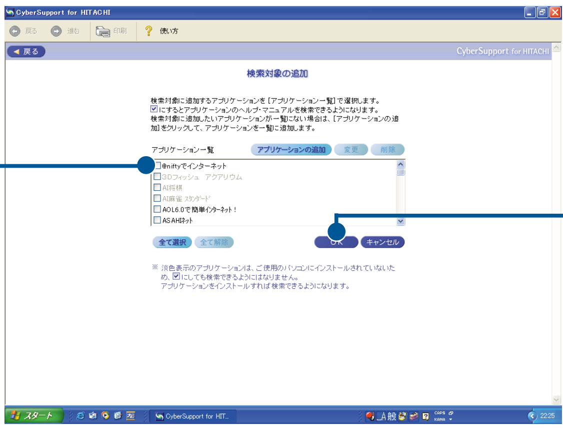


3 [検索対象の追加]をクリック

▼[検索対象の追加]画面が表示されます。

4 追加したいアプリケーション名左の☐をクリック

▼アプリケーション名の左が☐から☑に変わります。



5 [OK]ボタンをクリック

検索情報の更新が始まります。検索情報の更新が終わると、自動的に検索の画面に戻ります。[対象選択]タブにアプリケーションが追加され、アプリケーションの電子マニュアルやヘルプが検索できるようになります。

重要

◎アプリケーションの電子マニュアル・ヘルプを追加できるのは、管理者アカウントのあるユーザーです。制限付きアカウントのユーザーでは追加できません。

◎複数のユーザーがログオンしている場合、ほかのユーザーが検索情報の更新や検索を行っているときは、検索対象にアプリケーションの電子マニュアル・ヘルプを追加できません。

参照

ユーザーの登録について→「4. コントロールパネルを使おう」の「一台のパソコンを複数の人で使う」

ヒント

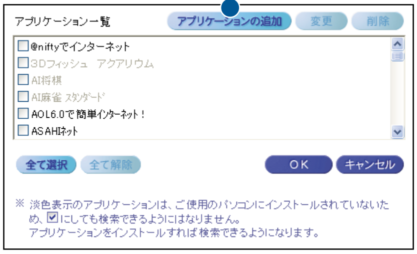
★検索対象からアプリケーションを外すときは、☑をクリックして☐にします。

★すべてのアプリケーションを検索対象に追加するときは、[全て選択]ボタンをクリックします。

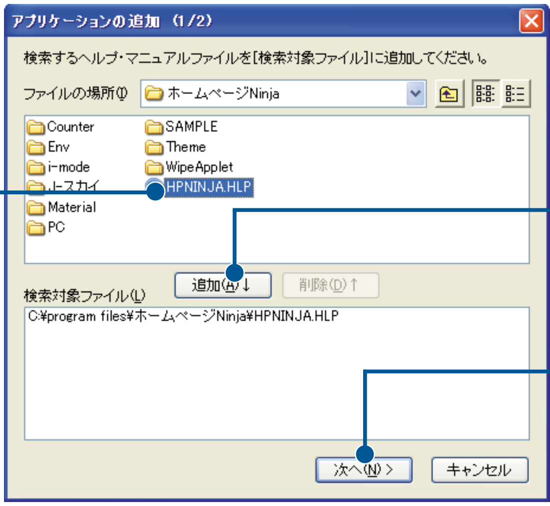
●任意のアプリケーションの電子マニュアルなどを追加する

1 [検索対象の追加]画面で、[アプリケーションの追加]ボタンをクリック

▼[アプリケーションの追加]画面が表示されます。



2 追加したいアプリケーションの電子マニュアルなどを選ぶ



3 [追加]ボタンをクリック

▼[検索対象ファイル]に、追加したファイル名が表示されます。

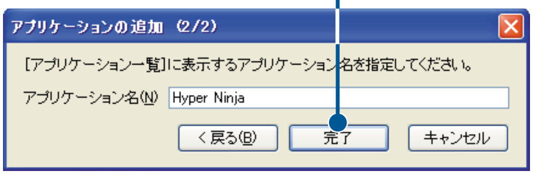
4 [次へ]ボタンをクリック

ヒント

★ 検索対象に追加できるのは、拡張子が.TXT、.HTM、.HTML、.HLP、.CHM、.PDFのファイルです。ただし、一部追加できないファイルもあります。

5 アプリケーション名を入力し、[完了]ボタンをクリック

▼アプリケーション名が[検索対象の追加]画面の[アプリケーション一覧]に追加され、☑が付きます。



6 [OK]ボタンをクリック

ヒント

★ アプリケーション名は、全角で128文字(半角256文字)まで入力できます。

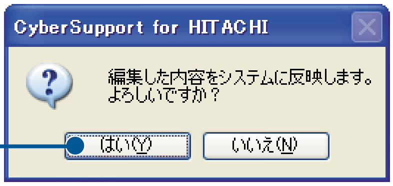
ヒント

★ 追加したアプリケーション名を削除するときは、[アプリケーション一覧]でアプリケーション名を選び[削除]ボタンをクリックします。

★ 追加したアプリケーション名や検索対象のマニュアルなどを変えるときは、[アプリケーション一覧]でアプリケーション名を選び[変更]ボタンをクリックし、手順2から操作し直します。

7 「編集した内容をシステムに反映します。よろしいですか？」と表示されたら、[はい]ボタンをクリック

検索情報の更新が始まります。検索情報の更新が終わると、自動的に[CyberSupport for HITACHI]画面に戻ります。



パソコンを終了する

パソコンでの作業が終わったら、次の手順に従ってパソコンを終了しましょう。

1 開いているファイルを閉じ、アプリケーションをすべて終了する

2 [スタート]ボタンをクリック

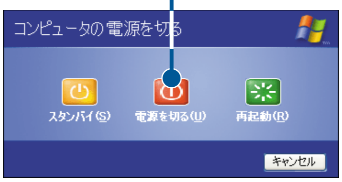
3 [終了オプション]をクリック

▼[コンピュータの電源を切る]画面◆が表示されます。



4 [電源を切る]ボタンをクリック

▼パソコンの電源が切れます。



5 ディスプレイやプリンターなどの周辺機器の電源を切る

ヒント

★ハードディスクやフロッピーディスク、CD/DVDドライブのアクセスランプなどが点灯/点滅しているときは、電源を切らないでください。

2.ウィンドウとデスクトップを使おう

今度は、ウィンドウ◆とデスクトップを使ってみましょう。
Windowsでは、ファイルを見たり、アプリケーションを立ち上げると、ウィンドウと呼ばれる画面が開きます。
作業は、画面を机の上に見立てて行います。この画面をデスクトップといいます。ウィンドウやデスクトップを使ってWindowsを楽しんでみましょう。

ここでは、ウィンドウとデスクトップの基本的な使い方を説明します。

ウィンドウを開く/閉じる

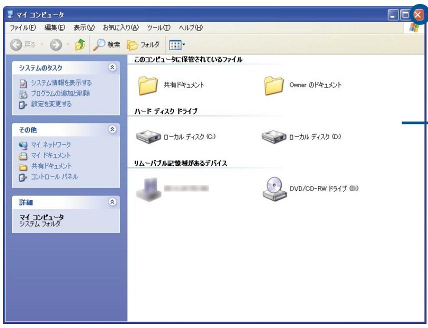
ウィンドウを開いて、中を見てみましょう。
ここでは、スタートメニューから[マイ　コンピュータ◆]ウィンドウを開きます。

1 [スタート]ボタンをクリック



2 [マイ　コンピュータ]をクリック

▼[マイ　コンピュータ]ウィンドウが開きます。



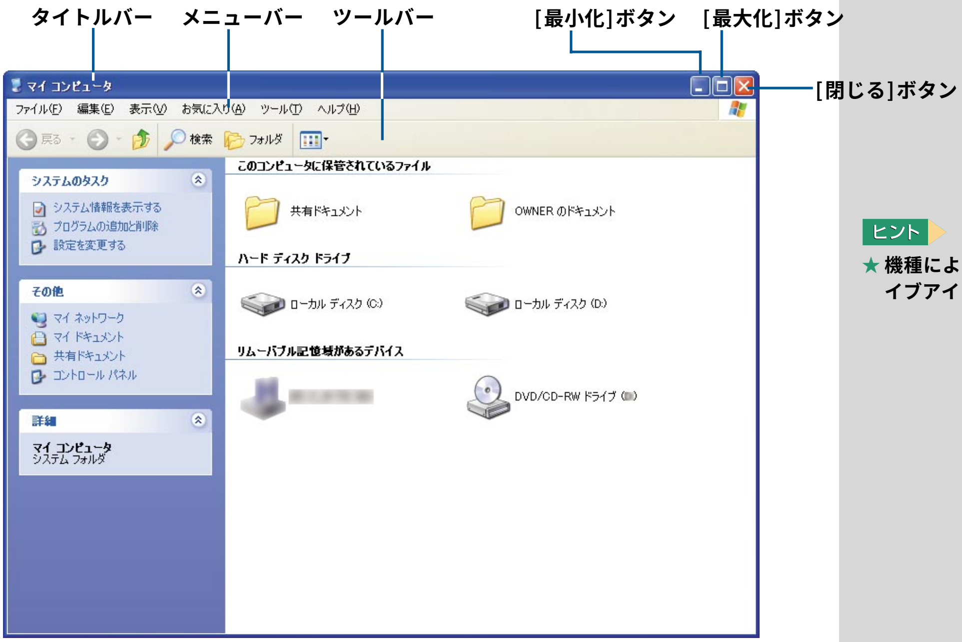
[マイ　コンピュータ]
ウィンドウ

3 ❎([閉じる]ボタン)をクリック

▼[マイ　コンピュータ]ウィンドウが閉じます。

ウィンドウ各部の名前と働き

ウィンドウにあるものを見て、その名前と働きを覚えましょう。



●**タイトルバー** ……… ウィンドウの名前が表示されます。

●**メニューバー** ……… いろいろな作業をするメニューが並んでいます。

●**ツールバー** ………… よく使う操作をアイコンで表示します。

([最小化]ボタン) … ウィンドウをデスクトップから隠します。

([最大化]ボタン) … ウィンドウをデスクトップいっぱいに広げます。最大化すると、このボタンは[元に戻す]ボタン( )に変わります。

([閉じる]ボタン) … ウィンドウを閉じます。

ヒント

★ 機種により、表示されるドライブアイコンは異なります。

ウィンドウの大きさを変える

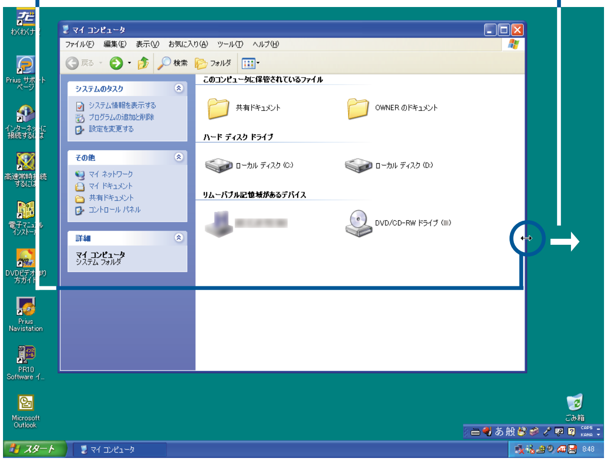
ウィンドウの大きさを変えましょう。
ウィンドウは、四隅や境界線をドラッグして自由に大きさを変えることができます。

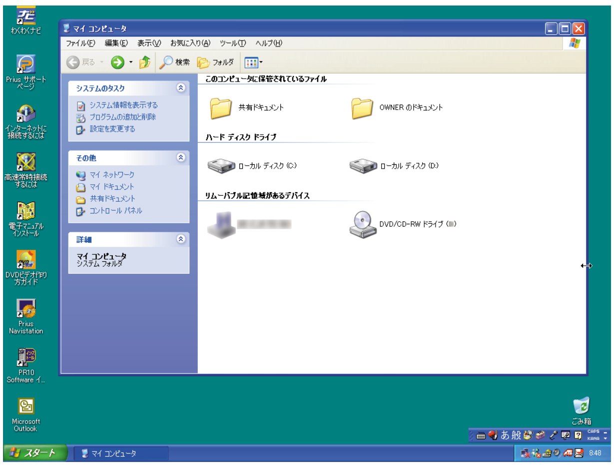
1 ウィンドウの境界線をポイント

▼マウスポインターの形が⟷に変わります。

2 そのまま右にドラッグして、左ボタンをはなす

▼ウィンドウの大きさが変わります。





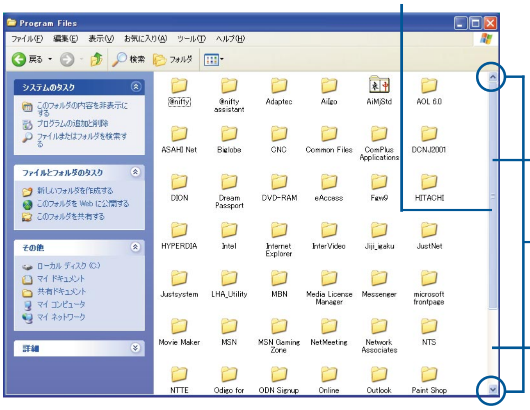
ヒント

★マウスポインターの形はポイントする位置によって、⟷、↕、⤢、⤡に変わります。

★ ([最大化]ボタン)をクリックすると、画面いっぱいにウィンドウが拡大します。
元の大きさに戻すときは、 ([元に戻す]ボタン)をクリックします。
最大化したウィンドウのサイズは変えられません。

スクロールして隠れている部分を見る

アイコン◆や文字などが多すぎてウィンドウにすべてが表示されないときは、スクロールして隠れている部分を見ましょう。
ウィンドウ内に収まらないデータがあるときは、スクロールバー◆が表示されます。



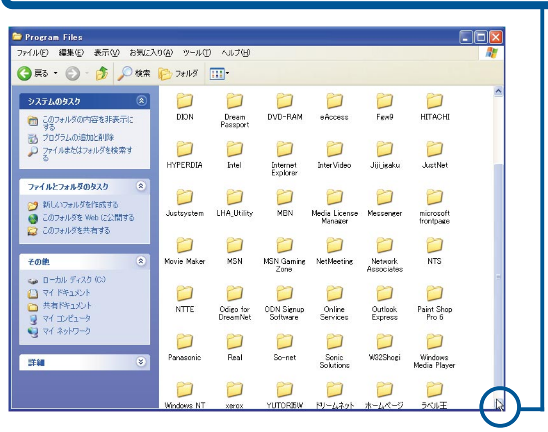
スクロールするには、次の方法があります。
- スクロールボタンでスクロールする
- スクロールバーでスクロールする
- マウスのホイールボタンでスクロールする

スクロールボタンでスクロールする

スクロールボタンを使ってスクロールすると、少しずつスクロールします。

1 **∨ を何回かクリック**

▼下に隠れている画面がクリックするたびに少しずつ上がります。



参照

マウスのホイールボタンについて→「1.パソコンを始めよう」、「スクロールする」

ヒント

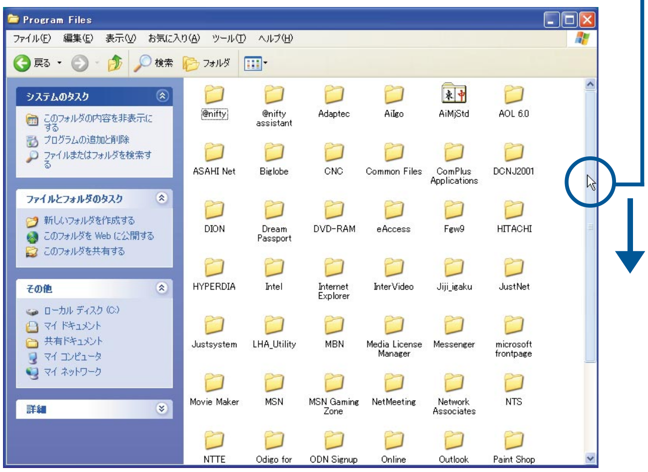
★左右にスクロールするときは、＜ や ＞ をクリックします。

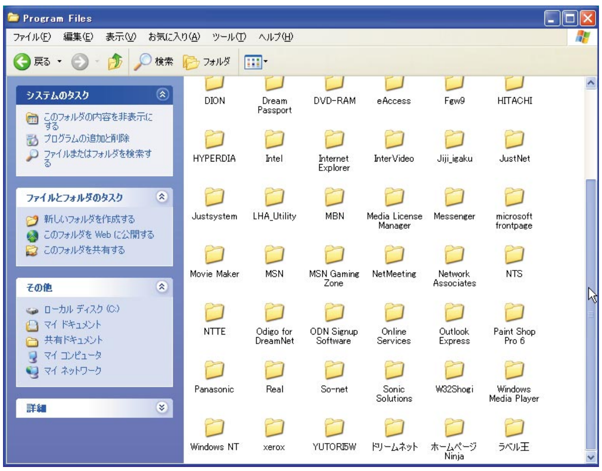
スクロールバーでスクロールする

スクロールバーを使うと、上下左右にスクロールすることができます。

1 スクロールバー内のウィンドウの表示範囲を示す部分をドラッグ

▼ドラッグに合わせて、画面がスクロールされます。





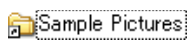
ヒント

★ 左右のスクロールバーも同じようにドラッグして操作します。

★ スクロールバー内のウィンドウに表示されていない範囲を示す部分をクリックすると、1画面ずつスクロールします。

ウィンドウの表示を変える

ウィンドウ内の情報を、見やすいように変えましょう。
次のような表示に変えることができます。

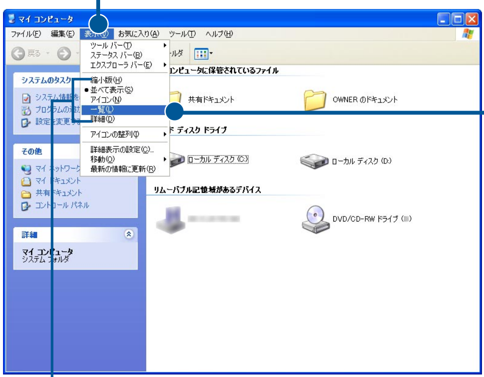
縮小版 	フォルダーやファイルの内容をイメージしたアイコンで表示します。画像などを格納した複数のフォルダーを縮小表示すると、画像のあるフォルダーが一目で分ります。
並べて表示 	フォルダーやファイルをアイコンで表示します。「アイコンの整列」で指定した並べ替え情報が、フォルダー名やファイル名の下に表示されます。
アイコン 	フォルダーやファイルを「並べて表示」より小さいアイコンで表示します。フォルダー名やファイル名の下に「アイコンの整列」で指定した並べ替え情報は表示されません。
一覧 	フォルダーやファイルが「アイコン」より小さいアイコンで一覧表示されます。たくさんのファイルがあるフォルダーの内容などを一覧するときに便利です。
詳細 	開いているフォルダーの内容が一覧表示され、名前、ファイルの種類、サイズ、更新日時などの詳細な情報が表示されます。

1 メニューバーの[表示]をクリック

▼[表示]メニューが表示されます。

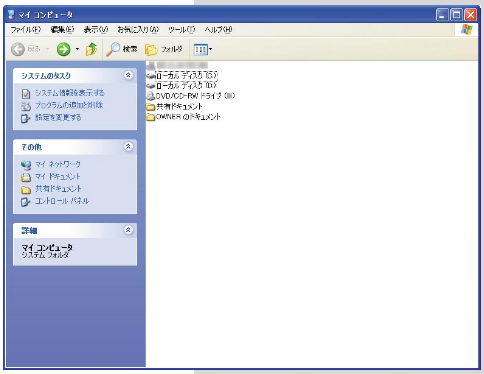
2 [一覧]をクリック

▼アイコンが小さいアイコン表示に切り替わります。



「並べて表示」の場合

アイコンの大きさや、表示を変えるメニュー



「一覧」の場合

ヒント

★[マイピクチャ]フォルダーなどフォトアルバム形式のフォルダーでは、[表示]メニュー－[写真]をクリックして写真を大きく表示できます。

参照

「3.ファイルを使おう」、「フォルダーの中の画像を見る」

ヒント

★メニューの左側に黒丸やチェックが付いている項目は、その項目が現在選択されていることを示します。

複数のウィンドウを切り替える

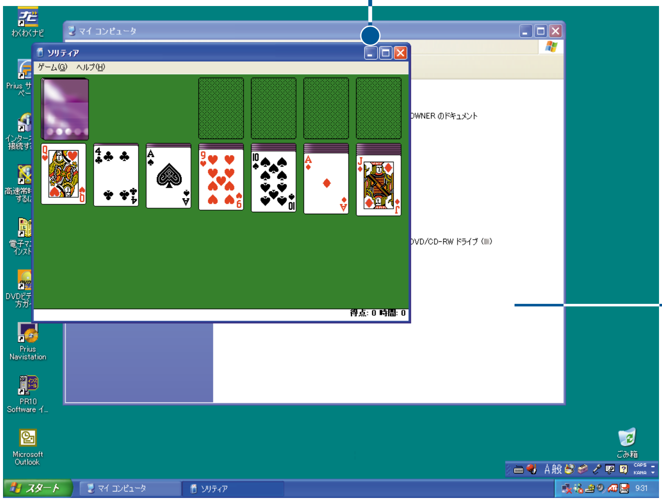
ウィンドウが複数開いているとき、見たいウィンドウに切り替えましょう。

ウィンドウを隠す/表示する

現在一番前面に表示されているウィンドウを、デスクトップから隠しましょう。さらに、隠れているウィンドウを表示しましょう。

1 **([最小化]ボタン)をクリック**

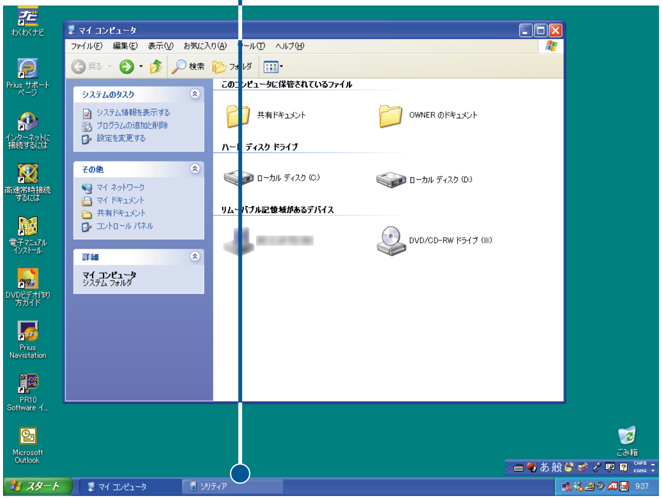
▼デスクトップからウィンドウが隠れます。

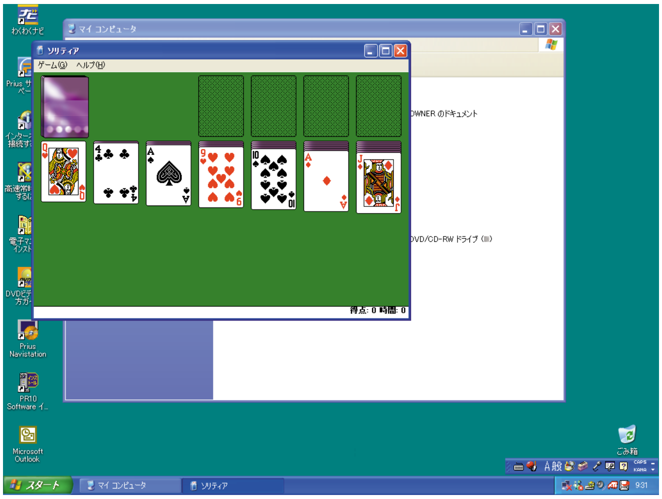


ウィンドウ内をクリックしても、ウィンドウを切り替えられます。

タスクバーで切り替えたいウィンドウをクリック

▼ウィンドウが切り替わります。





デスクトップを好みの背景に変える

部屋の壁紙を変えるように、デスクトップの背景◆も好みの壁紙◆に変えてみましょう。

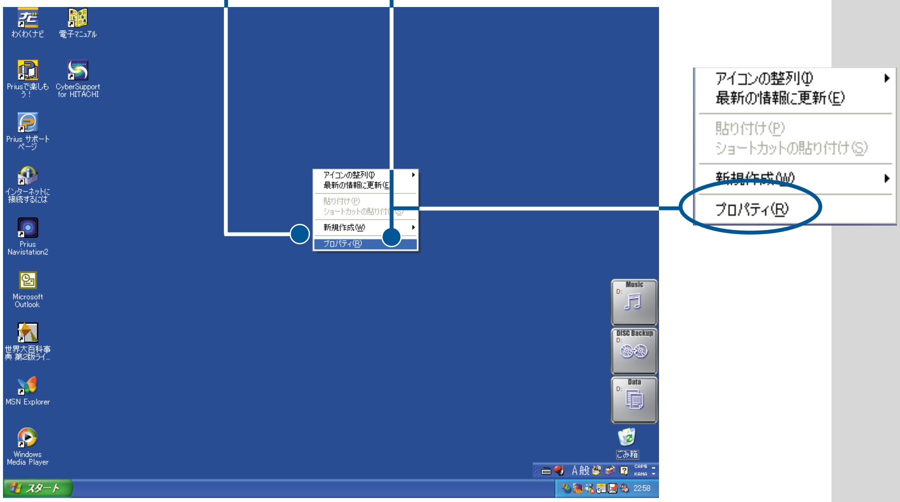
壁紙を変える

1 デスクトップの何もないところで右クリック

▼ショートカット メニューが表示されます。

2 [プロパティ]をクリック

▼[画面のプロパティ]画面が表示されます。



3 **[デスクトップ]タブをクリック**

4 **一覧から好みの壁紙をクリック**

ここでは[カントリーハウス]をクリックします。

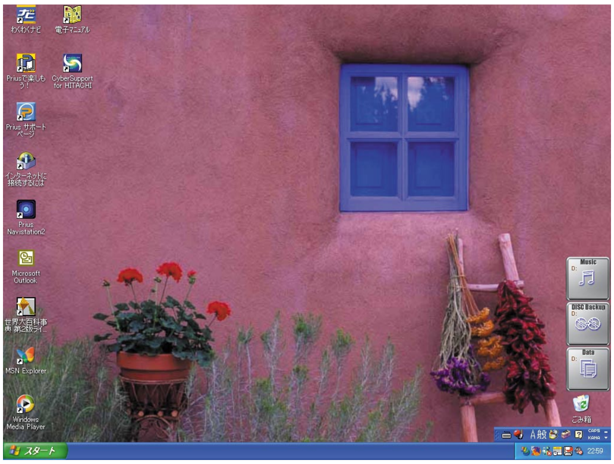


5 **[表示位置]の をクリック**

6 **[拡大して表示]をクリック**

7 **[OK]ボタンをクリック**

▼デスクトップの背景が選んだ壁紙に変わります。



ヒント

★ 選んだ壁紙によっては、デスクトップ画面に表示する位置を[画像の位置]で指定することができます。

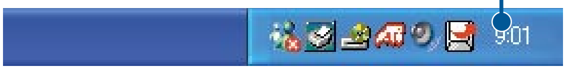
★ [壁紙]の一覧から[なし]を選ぶと、壁紙のない単色の背景になります。

タスクバーを使う

タスクバーには、開いているウィンドウと、時刻などが表示される通知領域◆が表示されています。
タスクバーを使うと、作業が効率的になります。

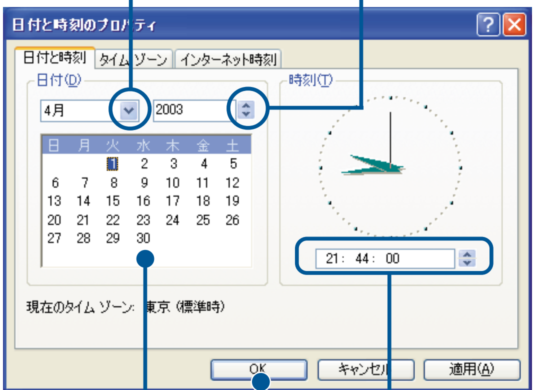
日付と時刻を設定する

1 タスクバー右の通知領域の時刻表示をダブルクリック
▼[日付と時刻のプロパティ]画面が表示されます。



2 年表示の をクリック
▼年が変わります。

3 月表示の をクリックし、月をクリック



4 カレンダーの日付をクリック

5 時刻欄をクリックし、時刻を入力

6 [OK]ボタンをクリック
▼指定した日付と時刻に設定されます。

重要
◎日付や時刻は、コンピューターの管理者しか、変更できません。

ヒント
★[コントロールパネル]画面の[日付と時刻]アイコンをダブルクリックしても[日付と時刻のプロパティ]画面を表示できます。

ヒント
★12時間制で表示するには、[コントロールパネル]画面の[地域と言語のオプション]アイコンをダブルクリックします。[地域オプション]タブの[カスタマイズ]ボタンをクリックし、[地域のオプションのカスタマイズ]画面の[時刻]タブで変更します。

3.ファイルを使おう

パソコンに慣れるにつれて、アプリケーションで作ったデータなどがたまってしまいます。中には、いらないものも出てきます。フォルダー◆を作って整理したり、削除して、パソコンでファイルを使いやすくしましょう。

ここでは、ファイルを整理する「エクスプローラ◆」を使って、ファイルの移動や削除などを説明します。

ファイルを探す

ファイルを探すときは、エクスプローラを使うと便利です。

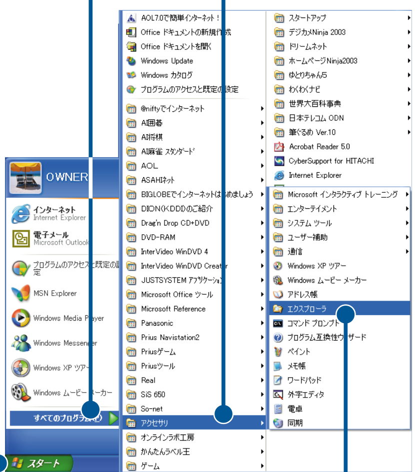
エクスプローラを立ち上げる

エクスプローラを立ち上げましょう。

1 [スタート]ボタンをクリック

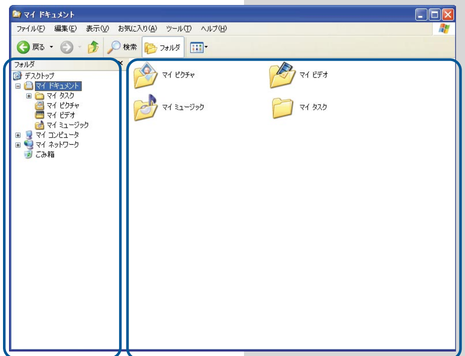
2 [すべてのプログラム]をポイント

3 [アクセサリ]をポイント



4 [エクスプローラ]をクリック

▼エクスプローラが立ち上がります。



左側には、フォルダーの階層構成が表示されます。

右側には、左側で選択されているフォルダーの内容が表示されます。

フォルダーの中を見る

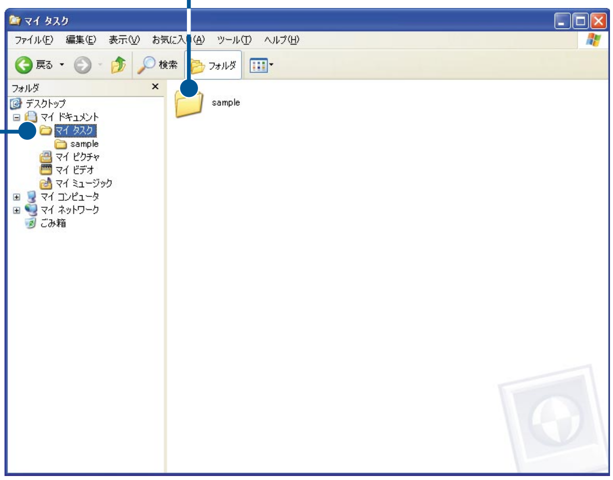
エクスプローラを使ってフォルダーの中を見ましょう。

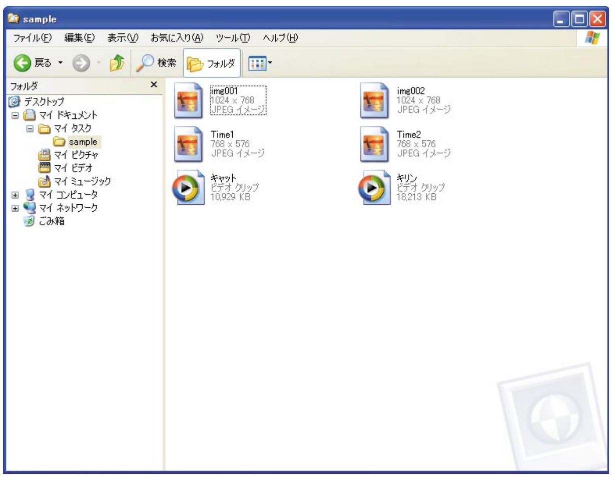
1 見たいフォルダーの左にある をクリック

▼フォルダーが開き、右側にフォルダーの中の構成が表示されます。

2 どんなファイルが入っているかを見たいフォルダーの をダブルクリック

▼右側にフォルダーの内容が表示されます。





ヒント

フォルダーアイコン(や)の左の ＋ と － の意味は

★ ＋ のあるフォルダーには、その中にさらにフォルダーがあります。＋ をクリックすると、中のフォルダーが表示され、＋ は － になります。－ をクリックすると、中のフォルダーの表示が閉じ、＋ に変わります。

ヒント

★ 右側にフォルダーの内容が表示されず「ファイルは表示されていません。」と表示されたときは、[このフォルダの内容を表示する]をクリックします。

フォルダーの中の画像を見る

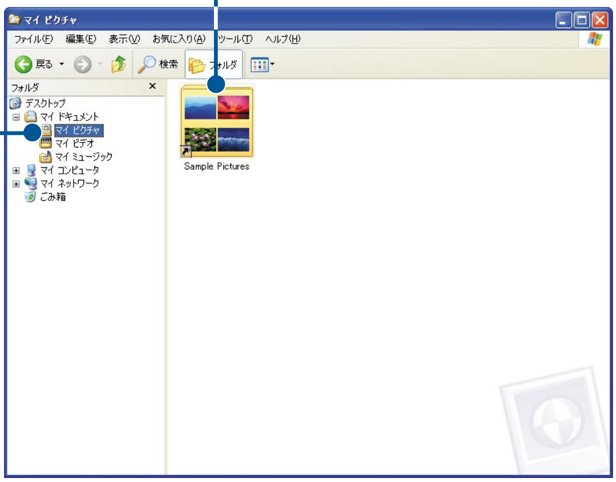
フォトアルバム形式のフォルダー内の画像を見ましょう。

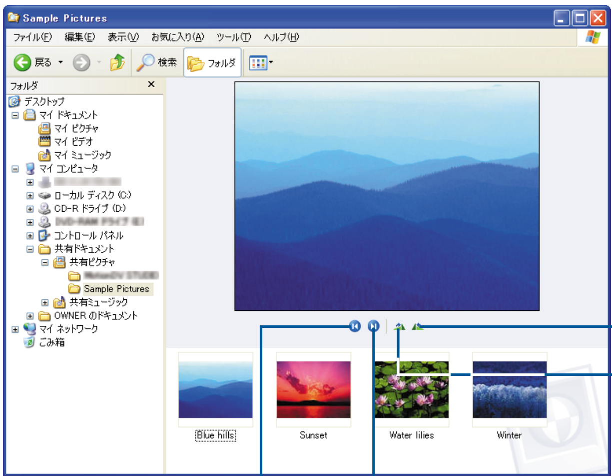
1 **[マイ　ドキュメント]フォルダーの[マイ　ピクチャ]の左にある をクリック**

▼フォルダーが開き、右側にフォルダーの中の構成が表示されます。

2 **[Sample Pictures]をダブルクリック**

▼画像が写真表示で表示されます。





フォトアルバム形式のフォルダーの写真表示

左回りに回転する

右回りに回転する

次の画像を表示する

前の画像を表示する

ヒント

★ フォトアルバム形式のフォルダーに変えるときは、フォルダーを選択し[ファイル]メニュー－[プロパティ]をクリックし、[xxxのプロパティ]画面の[カスタマイズ]タブの[フォルダの種類]で[フォトアルバム(少ないファイルに最適)]を選択します。

★ 写真表示以外の表示のときは、[表示]メニュー－[写真]をクリックします。

2

ファイルを整理するフォルダーを作る

ファイルを保管し整理するフォルダーを作りましょう。
フォルダーを作ってファイルを整理すると、ファイルを置いた場所がわかりやすくなり、探す手間が省けます。

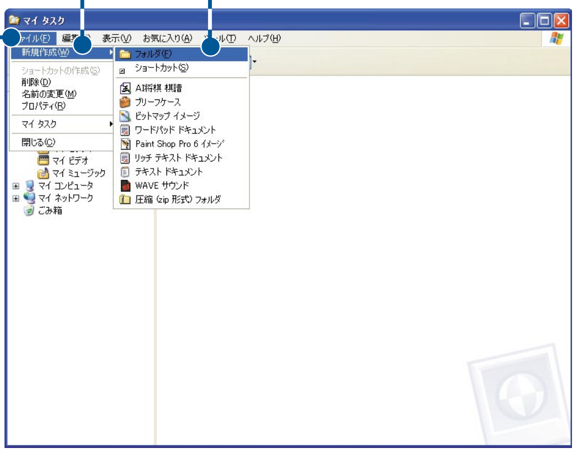
1 エクスプローラを立ち上げ、フォルダーを作るマイ ドキュメント◆などを表示する

2 [ファイル]メニューをクリック

3 [新規作成]をポイント

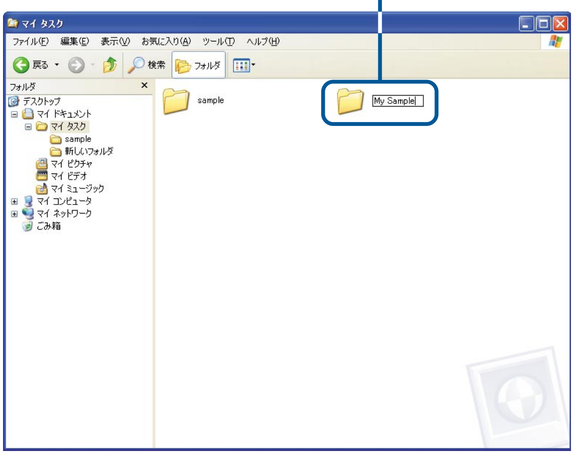
4 [フォルダ]をクリック

▼新しいフォルダーが作られます。



5 フォルダーの名前を入力し、[Enter]キーを押す

▼新しいフォルダーに名前が付きます。



ヒント

★ フォルダーの名前は、半角英数字で 255 文字以内で入力できます。全角の日本語やスペースも使えます。\、/、:、*、?、"、<、>、| は使えません。

ファイルをコピーする

同じ内容のファイルを別のフォルダーにコピーしましょう。
コピーする方法には、次の2つがあります。
・[コピー]、[貼り付け]を使ってコピーする
・ドラッグアンドドロップでコピーする

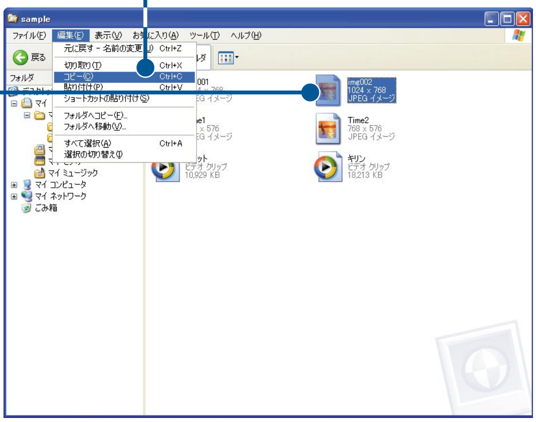
[コピー]、[貼り付け]を使ってコピーする

1 コピーするファイルをクリック

▼ファイルが選択されます。

2 [編集]メニュー－[コピー]をクリック

▼選択したファイルがクリップボード◆に保管されます。

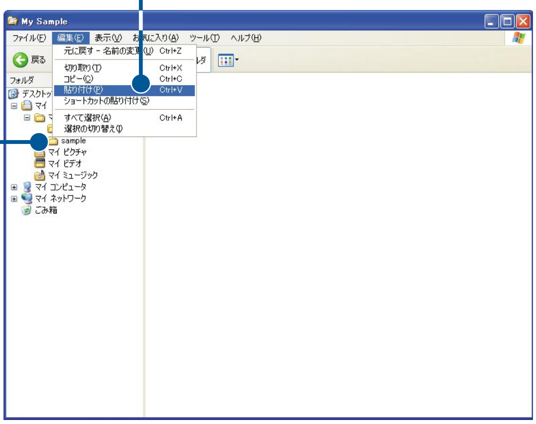


3 コピー先のフォルダーをクリック

▼右側にコピー先のフォルダーの内容が表示されます。

4 [編集]メニュー－[貼り付け]をクリック

▼コピー先のフォルダーにファイルがコピーされます。

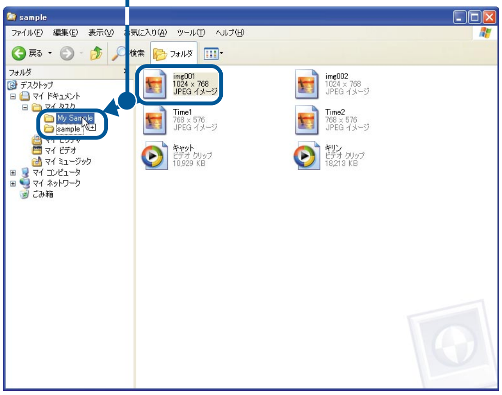


ヒント

★クリップボードにあるファイルなどのデータは、別のファイルなどをクリップボードに保管するまで何回でもはり付けることができます。

ドラッグアンドドロップでコピーする

1 コピーするファイルを、コピー先のフォルダーに[Ctrl]キーを押しながらドラッグアンドドロップ



> ヒント
> ★[Ctrl]キーを押さないでドラッグアンドドロップすると、ファイルが移動します。ただし、別のドライブにドラッグアンドドロップすると、コピーされます。

ファイルを移動する

ファイルをフォルダーに移動して整理しましょう。
移動する方法には、次の2つがあります。

・[切り取り]、[貼り付け]を使って移動する
・ドラッグアンドドロップで移動する

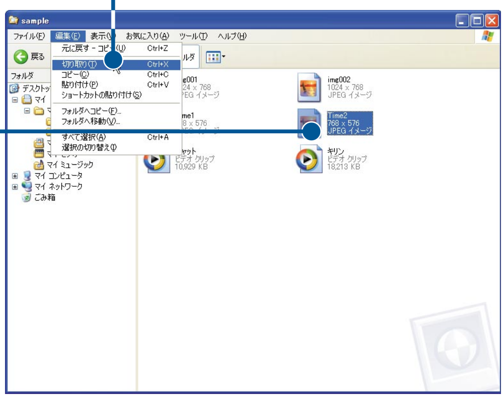
[切り取り]、[貼り付け]を使って移動する

1 移動するファイルをクリック

▼ファイルが選択されます。

2 [編集]メニュー－[切り取り]をクリック

▼選択したファイルが切り取られ、クリップボードに保管されます。

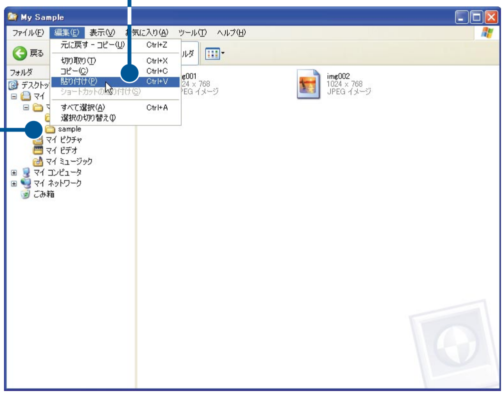


❸ 移動先のフォルダーをクリック

▼右側に移動先のフォルダーの内容が表示されます。

❹ [編集]メニュー－[貼り付け]をクリック

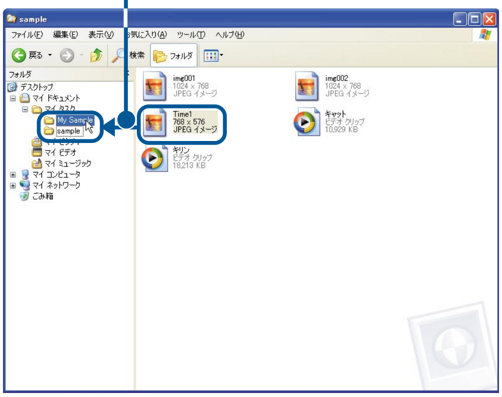
▼移動先のフォルダーにファイルが移動します。



ドラッグアンドドロップで移動する

❶ 移動するファイルを、移動先のフォルダーにドラッグアンドドロップ

▼ファイルが指定したフォルダーに移動します。



ヒント

★ クリップボードにあるファイルなどのデータは、別のファイルなどをクリップボードに保管するまで何回でもはり付けることができます。

ヒント

★ 移動するファイルが入っているドライブとは別のドライブのフォルダーにファイルをドラッグアンドドロップすると、ファイルがコピーされます。移動したいときには、[Shift]キーを押しながらドラッグアンドドロップします。

不要なファイルを削除する

不要なファイルやフォルダーは削除しましょう。
ごみ箱◆に捨てるだけで削除できます。

ファイルをごみ箱に移動する

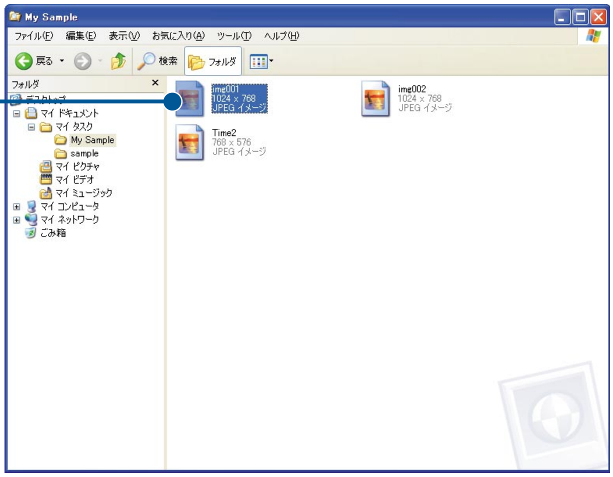
不要になったファイルを削除してごみ箱に移動しましょう。

1 ごみ箱に移すファイルをクリック

▼ファイルが選択されます。

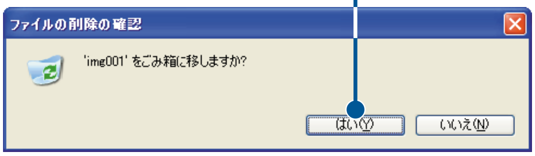
2 [Delete]キーを押す

▼削除確認のメッセージが表示されます。



3 [はい]ボタンをクリック

▼選択したファイルがごみ箱に移り、[ごみ箱]アイコンの形が変わります。





ごみ箱に削除したファイルやフォルダーが入っていることを示します。

ヒント
★ごみ箱にファイルを直接ドラッグアンドドロップしても移動できます。

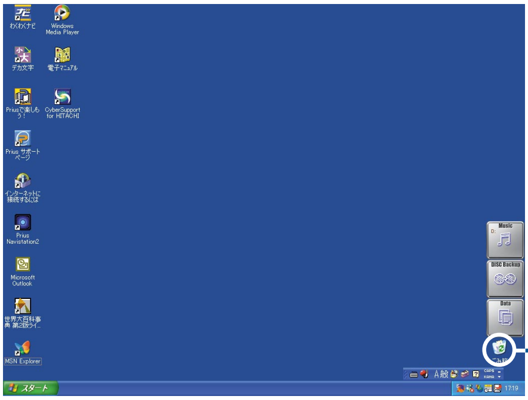
ヒント
★[ごみ箱]アイコンの形は、ごみ箱が空のときにファイルなどを削除すると変わります。2回目以降の削除では、変わりません。

ごみ箱を空にして完全に削除する

削除したファイルやフォルダーは、まだごみ箱の中にあります。
ごみ箱を空にして、完全に削除しましょう。

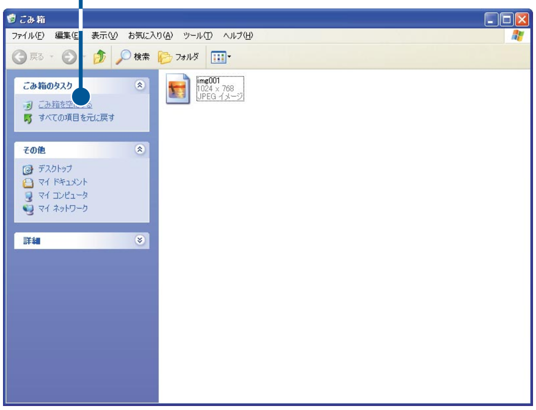
1 [ごみ箱]アイコンをダブルクリック

▼[ごみ箱]ウィンドウが表示されます。削除したファイルとフォルダーが入っています。



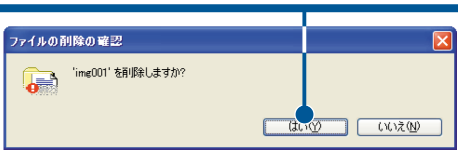
2 [ごみ箱を空にする]をクリック

▼削除確認のメッセージが表示されます。



3 [はい]ボタンをクリック

▼ごみ箱が空になり、ファイルやフォルダーが完全に削除され、[ごみ箱]アイコンの形が元に戻ります。



ヒント

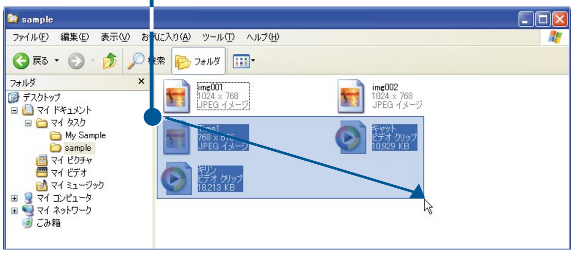
★ 削除したファイルは、ごみ箱に残っています。ごみ箱を空にすると、完全に削除されます。
もし間違えて削除しても、ごみ箱を空にする前であれば、ごみ箱から元の場所に戻すことができます。

複数のファイルを選ぶ

複数のファイルを選びましょう。
選択方法には、次の3つがあります。
・連続しているファイルを選ぶ
・ファイルを追加する
・すべてのファイルやフォルダーを選ぶ

連続しているファイルを選ぶ

1 選択するファイルをドラッグ



ファイルを追加する

選択したファイルに指定したファイルを追加します。

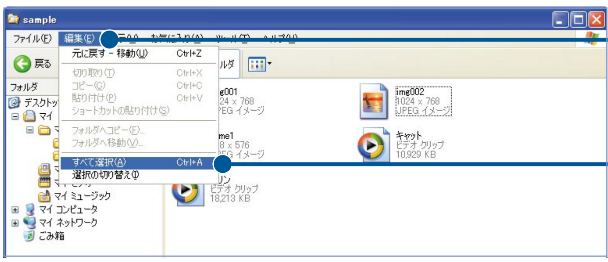


1 [Ctrl]キーを押しながらクリック

ヒント
★ 選択されている複数のファイルから、1つのファイルの選択を解除するときも、[Ctrl]キーを押しながらクリックします。

すべてのファイルやフォルダーを選ぶ

右側に表示されているファイルやフォルダーをすべて選択します。



1 [編集]メニューをクリック

2 [すべて選択]をクリック

フロッピーディスクをフォーマットする

新しいフロッピーディスクを使えるように、フォーマット◆しましょう。

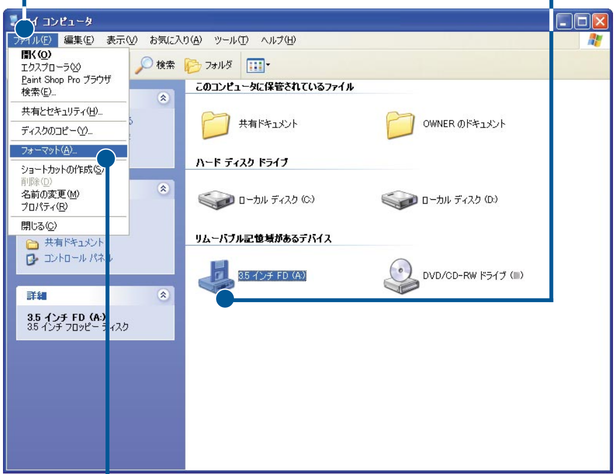
1 **新しいフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブ◆に、カチッと音がするまで入れる**

2 **[スタート]ボタン－[マイ　コンピュータ]をクリック**

▼[マイ　コンピュータ]画面が表示されます。

3 **[3.5インチFD(A:)]アイコンをクリック**

4 **[ファイル]メニューをクリック**



5 **[フォーマット]をクリック**

▼[フォーマット 3.5インチFD(A:)]画面が表示されます。

ヒント

★ フロッピーディスクを使うには、別途フロッピーディスクドライブが必要です。
オプションのフロッピーディスクドライブについては、電子マニュアル『パソコン応用』7章の「オプション情報」をご参照ください。

参照

フォーマットできるフロッピーディスクについて→「1.パソコンを始めよう」、「使えるディスク」

重要

◎ 使用しているフロッピーディスクをフォーマットすると、記録されていたデータはすべて消去されます。フォーマットする前に内容をご確認ください。

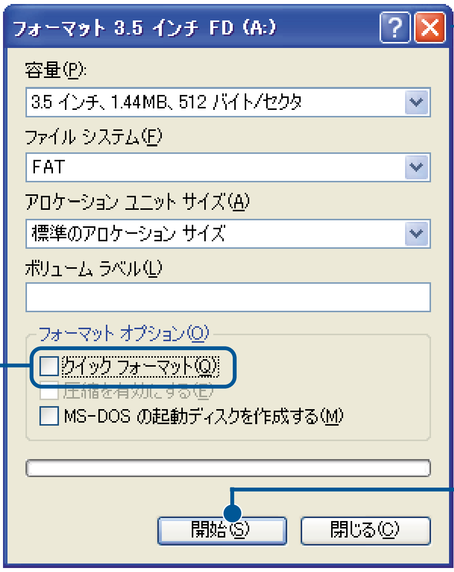
ヒント

★ [3.5インチFD(A:)]アイコンを右クリックし、[フォーマット]をクリックしてもフォーマットできます。

★ CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、DVD-RAMは、専用のアプリケーションでフォーマットが必要な場合があります。

6 [フォーマットオプション]で[クイックフォーマット]が☐であることを確認する

☑のときは、クリックして☐にします。



[終了]ボタン

7 [開始]ボタンをクリック

▼確認の画面が表示されます。

ヒント

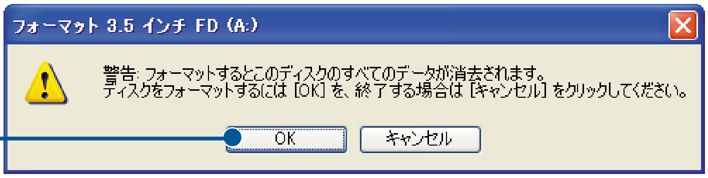
★フォーマットできないときは、そのフロッピーディスクが書き込み禁止になっているかもしれません。いったんフロッピーディスクを取り出して、書き込み禁止を解除してください。

参照

フロッピーディスクへの書き込み禁止について→「1.パソコンを始めよう」、「使えるディスク」

8 [OK]ボタンをクリック

▼フォーマットが始まります。フォーマットが終わると、完了の画面が表示されます。

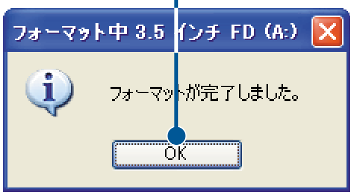


重要

◎フロッピーディスクを720KBの容量でフォーマットすることはできません。

9 [OK]ボタンをクリック

▼[フォーマット 3.5インチFD(A:)]画面に戻ります。



10 [閉じる]ボタンをクリック

4.コントロールパネルを使おう

コントロールパネル◆とは、パソコンを使う環境を設定するためのものです。マウスやポインティングパッド、キーボードの使い方などを変更できます。コントロールパネルを使って、パソコンを使いやすい環境にしましょう。

ここでは、マウスやポインティングパッドの使い方の変更を説明します。

マウス/ポインティングパッドの使い方を変える

マウスやポインティングパッドのダブルクリックの速度、マウスポインターの動く速さを変更しましょう。

ダブルクリックの速度を変える

ダブルクリックするときの速度を変えることができます。

1 [スタート]ボタンをクリック



2 [コントロールパネル]をクリック

▼[コントロールパネル]画面が表示されます。

4

コントロールパネルを使おう

3 [クラシック表示に切り替える]をクリック

▼クラシック表示画面に切り替わります。



[コントロールパネル]画面のカテゴリー表示

4 [マウス]アイコンをダブルクリック

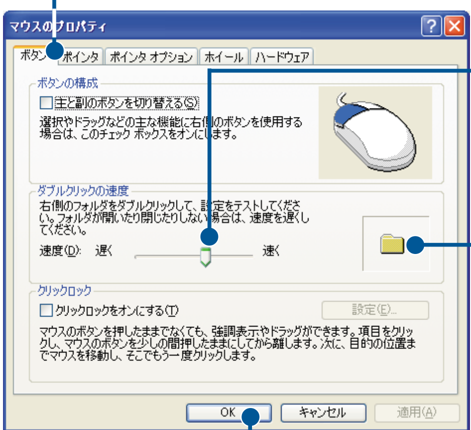
▼[マウスのプロパティ]画面が表示されます。



[コントロールパネル]画面のクラシック表示



5 [ボタン]タブをクリック



6 [ダブルクリックの速度]の▽を[遅く]または[速く]の方向にドラッグ

7 フォルダーのアイコンをダブルクリック

▼変更した速度内でダブルクリックすると、絵が変わります。

8 [OK]ボタンをクリック

ヒント

★ 以降、[コントロールパネル]画面はクラシック表示画面で説明します。

★ [マウスのプロパティ]画面は、カテゴリー表示の[プリンタとその他のハードウェア]、[マウス]をクリックしても表示できます。

ヒント

★ マウスボタン左右の動きを入れ替えるには次のようにします。
[ボタン]タブをクリックし、[ボタンの構成]で[主と副のボタンを切り替える]の左の□をクリックして☑にします。

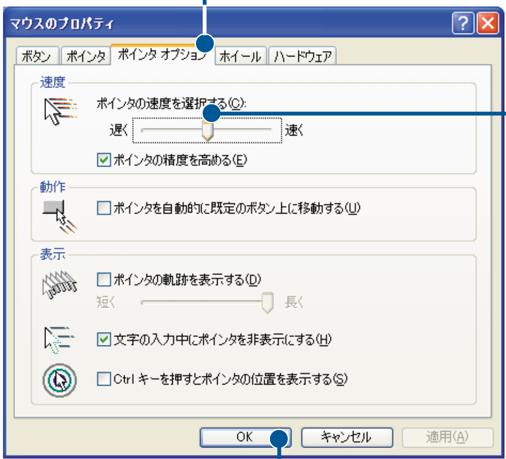
★ 機種によっては、設定画面が異なります。

マウスポインターの動く速さを変える

マウスを動かしたときのマウスポインターの動く速さを変えることができます。

1 [マウスのプロパティ]画面を表示する

2 [ポインタオプション]タブをクリック



3 [速度]のを[遅く]または[速く]の方向にドラッグ

▼マウスポインターの動く速さが変わります。

4 [OK]ボタンをクリック

▼指定したマウスポインターの動く速さに設定されます。

ヒント

★機種によっては、設定画面が異なります。

プリンターを設定する

プリンターの設定を変えたり、テスト印刷して印刷状態を確認しましょう。
新しいプリンターを追加することもできます。

1 [コントロールパネル]画面を表示する

2 [プリンタとFAX]アイコンをダブルクリック

▼[プリンタとFAX]画面が表示されます。





3 設定を確認するプリンターをクリック



4 [プリンタのプロパティの設定]をクリック

▼プリンターのプロパティー画面が表示されます。

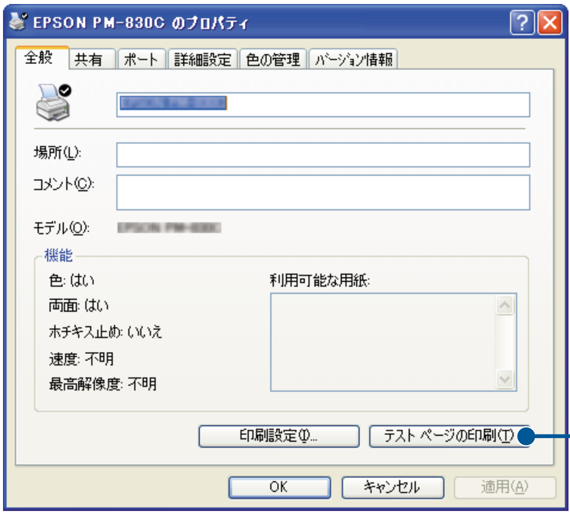
ヒント

★新しいプリンターを追加するときは、[プリンタのインストール]をクリックします。このあと画面の指示に従って操作します。

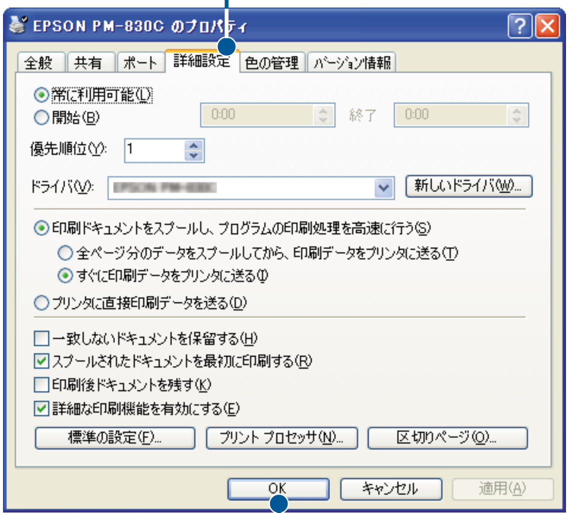
参照

詳細について→プリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

5 **テスト印刷するときは、プリンターの接続と電源が入っていることを確認し、[テストページの印刷]ボタンをクリック**



6 **プリンターの設定を確認するときは、[詳細設定]タブなどをクリック**



7 **[OK]ボタンをクリック**

ヒント

★印刷時にひんぱんにタイムアウトエラーが表示されるときは、プリンターのプロパティー画面の[ポート]タブで印刷するポートを選択し[ポートの構成]ボタンをクリックします。[xxxポートの構成]画面で再送信の秒数を変更します。

メモリーなどのシステムの設定を確認する

パソコンのメモリー容量やCPUなどを確認しましょう。

1 [コントロールパネル]画面を表示する

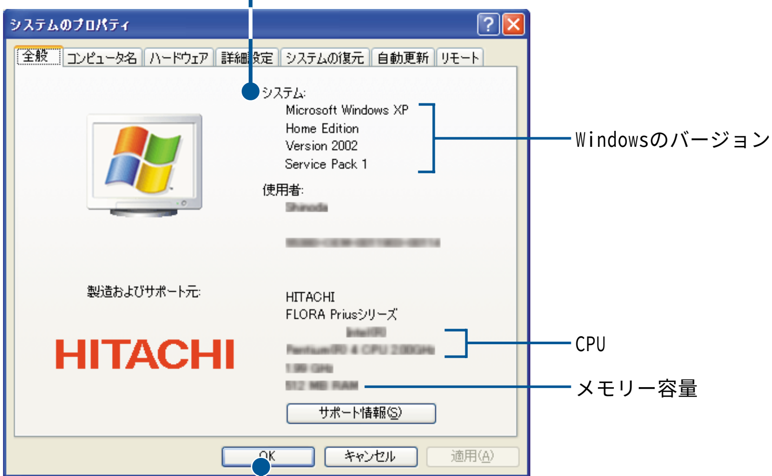
2 [システム]アイコンをダブルクリック

▼[システムのプロパティ]画面が表示されます。





3 システムの設定を確認する



4 [OK]ボタンをクリック

ヒント

★ メモリー容量は、実際と少し異なることがあります。

一台のパソコンを複数の人で使う

お互いの秘密を守りながら、一台のパソコンを複数の人で使えるようにするには、新しくユーザー◆を作成します。ユーザーを作成すると、個人用のファイルやメールなどがほかの人から見ることができなくなります。

新しいユーザーを作る

1 [コントロールパネル]画面を表示する

2 [ユーザーアカウント]アイコンをダブルクリック

▼[ユーザーアカウント]画面が表示されます。



ここをクリックすると、終了します。



ユーザー アカウント

3 [新しいアカウントを作成する]をクリック

▼新しいユーザーの名前を入力する画面が表示されます。



ヒント

★ 複数の人が同じ状態でパソコンを使うときは、新しくユーザーを作成する必要はありません。

4 新しいユーザーの名前を入力する

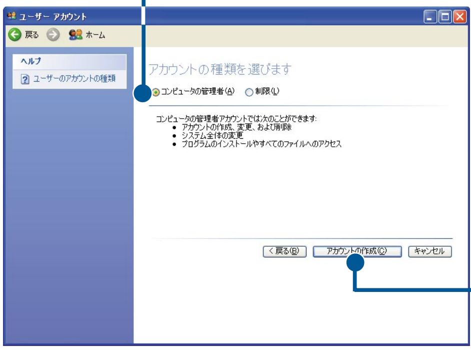


5 [次へ]ボタンをクリック

▼ユーザーの種類を選択する画面が表示されます。

6 [コンピュータの管理者]または[制限]をクリック

ここでは、[コンピュータの管理者]の左を ◉ にします。



7 [アカウントの作成]ボタンをクリック

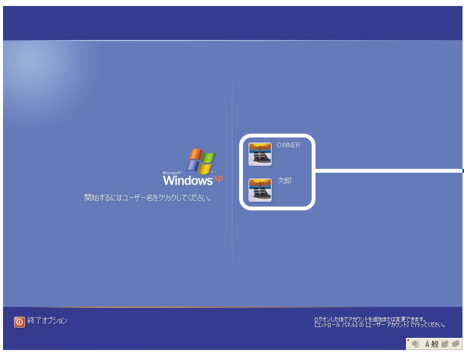
▼新しいユーザーが作成されます。

パソコンを立ち上げたときにユーザーを選ぶ

パソコンを立ち上げたとき、[ようこそ]画面でユーザーを選んでパソコンを使います。

1 パソコンの電源を入れる

▼[ようこそ]画面が表示されます。



2 ユーザーをクリック

▼選んだユーザーのデスクトップが表示されます。

ヒント

★ユーザーの名前は、パソコンを立ち上げたときに表示される[ようこそ]画面と[スタート]メニューに表示されます。

ヒント

★[コンピュータの管理者]は、アプリケーションのインストール、パソコンの設定変更、ユーザーの作成・変更・削除ができます。

★[制限]は、ユーザー画像の変更などができます。アプリケーションのインストールやパソコンの設定変更、ユーザーの作成・変更・削除などはできません。また、ほかのユーザーが作成した個人用データを見ることはできません。

ヒント

★[ようこそ]画面でユーザーを選ぶと、各ユーザー用にデスクトップのデザインを変えるなど、パソコン環境を変えることができます。

重要

◎[ようこそ]画面では、テレビの録画予約やメール着信チェックの予約などが実行されません。予約を実行するためには、「コンピュータの管理者」権限のある「OWNER」などのユーザーでパソコンを立ち上げてください。

パソコンの使用中にユーザーを変える

パソコンの使用中にほかのユーザーに変えます。

1 [スタート]ボタンをクリック



2 [ログオフ]をクリック

▼[Windowsのログオフ]画面が表示されます。

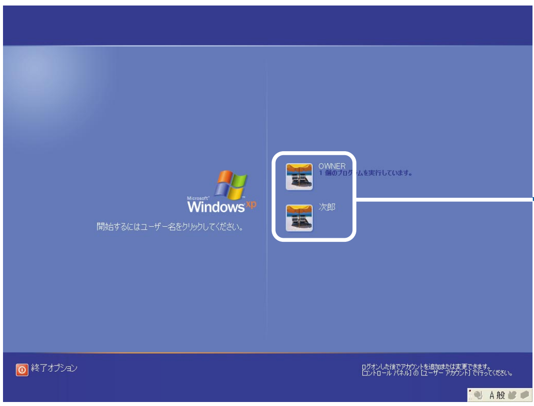
3 [ユーザーの切り替え]ボタンをクリック

▼[ようこそ]画面が表示されます。



4 ユーザーをクリック

▼選んだユーザーのデスクトップが表示されます。



ヒント

★左の[Windowsのログオフ]画面が表示されないときは、「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーが[ユーザーアカウント]画面で[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]をクリックし、[ユーザーの簡易切り替えを使用する]をチェックしてください。

ヒント

★スタンバイや休止状態から戻ったときも[ようこそ]画面が表示されます。
ユーザーを選んで再開してください。

自動的にユーザーの画面を立ち上げる

[ようこそ]画面を表示しないでパソコンを立ち上げるには、ほかの人と共同で使用できる共有ユーザーを作成します。パソコンの電源を入れたとき、自動的に共有ユーザーの画面が立ち上がります。

1 「新しいユーザーを作る」の手順で共有ユーザーを作る

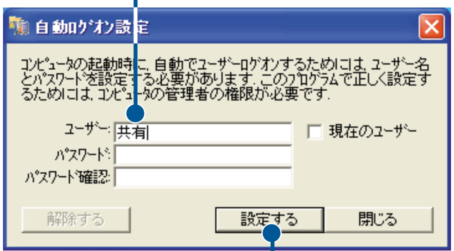
ここでは、ユーザー名を「共有」とし、ユーザーの種類を「制限」にします。

2 [スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[自動ログオン設定プログラム]をクリック

▼[自動ログオン設定]画面が表示されます。

3 共有ユーザー名を入力する

ここでは、「共有」を入力します。



4 [設定する]ボタンをクリック

このあと、パソコンを立ち上げ直すと、[ようこそ]画面が表示されず、共有ユーザーの画面が表示されます。各ユーザーの画面に切り替えるときは、「パソコンの使用中にユーザーを変える」の手順で操作します。

重要

◎[自動ログオン設定プログラム]はセットアップされていません。ご使用になる場合はセットアップしてください。

参照

[自動ログオン設定プログラム]のセットアップについて→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「セットアップする」「アプリケーションのセットアップ」

ヒント

★[ようこそ]画面を表示しないでパソコンを立ち上げると、テレビの録画予約やメール着信チェックの予約を実行することができます。ただし、スタンバイや休止状態などの節電状態から戻ったときは、ユーザー選択画面のままでも予約などが実行されます。

ヒント

★パスワードは必要に応じて、設定してください。

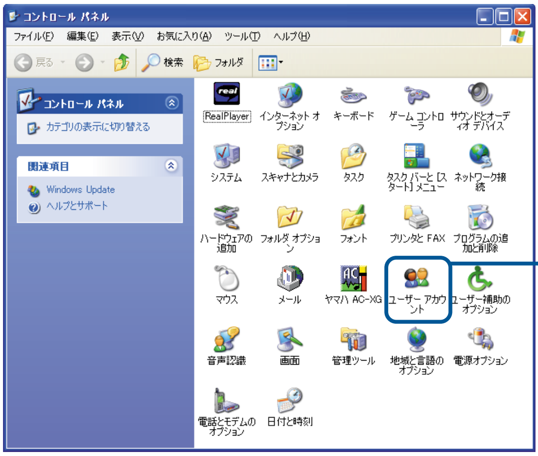
ユーザー名などを変える

ユーザー名とコンピューター名、コンピューターの説明を変更します。

ユーザー名を変える

パソコンを使うユーザー名を変更します。

1 [コントロールパネル]画面を表示する

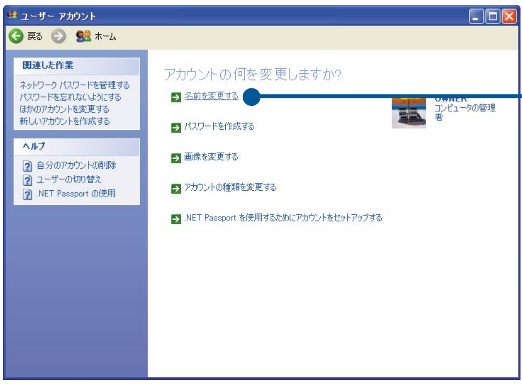


2 [ユーザーアカウント]アイコンをダブルクリック

▼[ユーザーアカウント]画面が表示されます。



3 変更するユーザー名をクリック

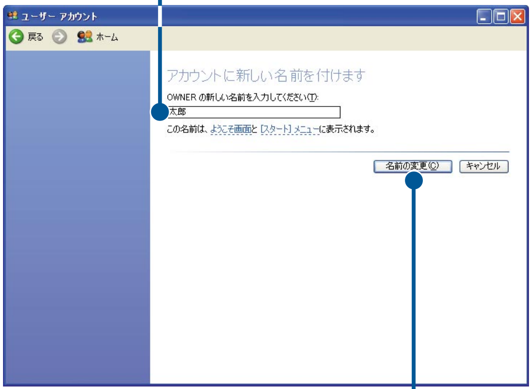


4 [名前を変更する]をクリック

ヒント

★ユーザーの画像を変更するときは、[画像を変更する]をクリックします。

5 新しい名前を入力する



6 [名前の変更]ボタンをクリック

▼ユーザー名が変更されます。

コンピューター名を変える

パソコンのコンピューター名◆とコンピューターの説明を変更します。

1 [コントロールパネル]画面を表示する

2 [システム]アイコンをダブルクリック

▼[システムのプロパティ]画面が表示されます。

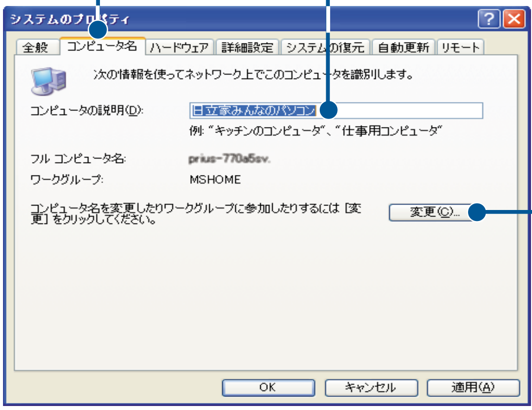


重要

◎ 複数の同じモデルのパソコンをLANで接続するときは、コンピューター名を変更してください。

3 [コンピュータ名]タブをクリック

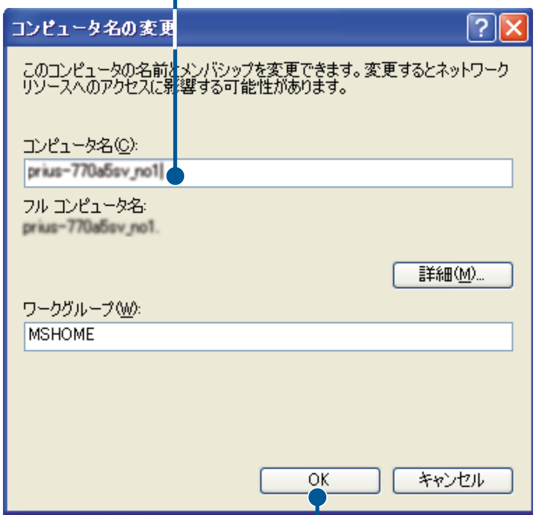
4 コンピューターの説明を入力する



5 [変更]ボタンをクリック

▼[コンピュータ名の変更]画面が表示されます。

6 コンピューター名を入力する



7 [OK]ボタンをクリック

▼コンピューター名が変更されます。

8 [OK]ボタンをクリック

▼コンピューターの説明が変更されます。

ヒント

★[コンピュータの説明]には、パソコンの使用場所や使い方などの説明を入力します。

重要

◎LAN接続するとき、コンピューター名を、別のパソコンのコンピューター名やWindowsドメインの名前と同じにすることはできません。

ヒント

★ワークグループとは複数のパソコンをLAN接続し、グループとして編成したものです。プリンターや共有フォルダーなどを探しやすくします。

CD/DVDなどの自動再生をやめる

CD/DVDなどのディスクをCD/DVDドライブにセットすると、自動的に再生するように設定されています。
自動再生をやめるときは、次のように設定してください。

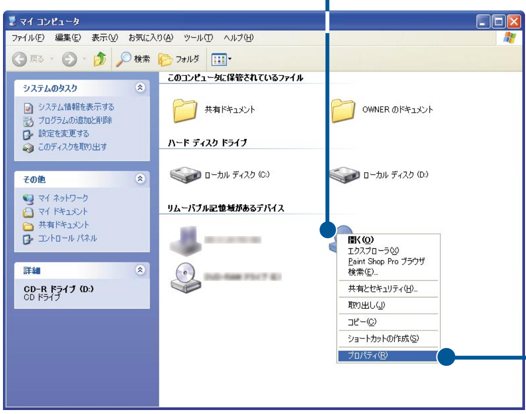
1 [スタート]ボタンをクリック

2 [マイ コンピュータ]をクリック

▼[マイ コンピュータ]画面が表示されます。



3 [DVD/CD-R/RWドライブ(E:)]を右クリック



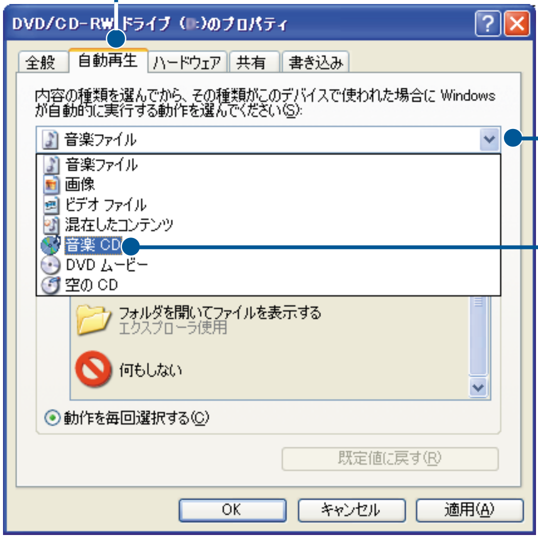
4 [プロパティ]をクリック

▼[DVD/CD-R/RWドライブ(E:)のプロパティ]画面が表示されます。

ヒント

★CD/DVDドライブをドライブEとして説明しています。ドライブ名は機種により異なる場合があります。

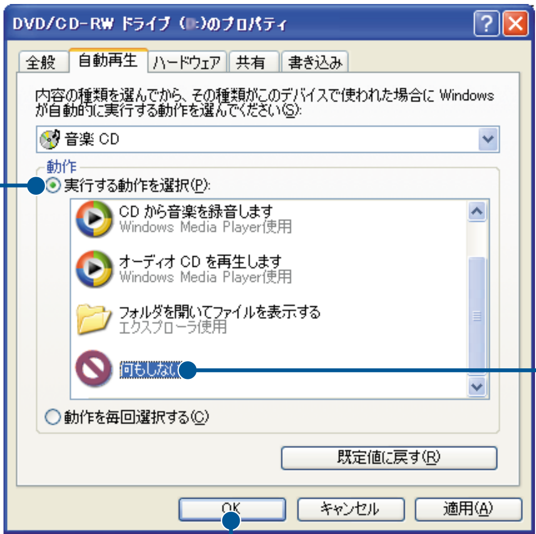
5 [自動再生]タブをクリック



6 をクリック

7 自動再生しない内容の種類をクリック

8 [実行する動作を選択]をクリック



9 [何もしない]をクリック

10 [OK]ボタンをクリック

ヒント

★ 自動的に再生する設定に戻すときは、[オーディオCDの再生]を選択します。

5.日本語を入力しよう

キーボードから日本語を入力しましょう。
はじめはキーの位置を確かめながら、あわてずゆっくりと入力していきましょう。

ここでは、日本語の入力方法を説明します。

日本語を入力できるようにする

日本語を入力するには、はじめに日本語入力システム◆を使えるようにします。

日本語入力システムを使えるようにする

日本語を入力できるようにしましょう。

1 [半角/全角]キーを押す

▼画面右下の言語バー◆の表示が変わります。

もう一度押すと、元に戻ります。

英数字のみ
入力できます。



言語バー

日本語も
入力できます。



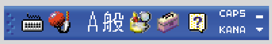
ヒント

★ここでは、日本語入力システムが「Microsoft IME」の場合を例に説明します。

★Microsoft IMEの詳しい使い方は、言語バーの （[ヘルプ]アイコン）をクリックし、ヘルプをご参照ください。

ヒント

★メモ帳などを立ち上げた直後の言語バーは次のように表示されます。



[半角/全角]キーを押すと、左のように言語バーの表示が変わります。

ローマ字入力とかな入力、どっちで入力？

日本語の入力方法には、「ローマ字入力◆」と「かな入力◆」があります。入力しやすい方法を選びましょう。

ローマ字入力とかな入力の違いは？

ローマ字入力とかな入力は、次のように切り替えてから入力します。

1

言語バーの KANA をクリック

▼ KANA が KANA に変わり、かな入力に切り替わります。

KANA をクリックし、KANA にすると、ローマ字入力に戻ります。



この表示がローマ字入力です。選択されていません。



この表示がかな入力です。選択されています。

●ローマ字入力の場合

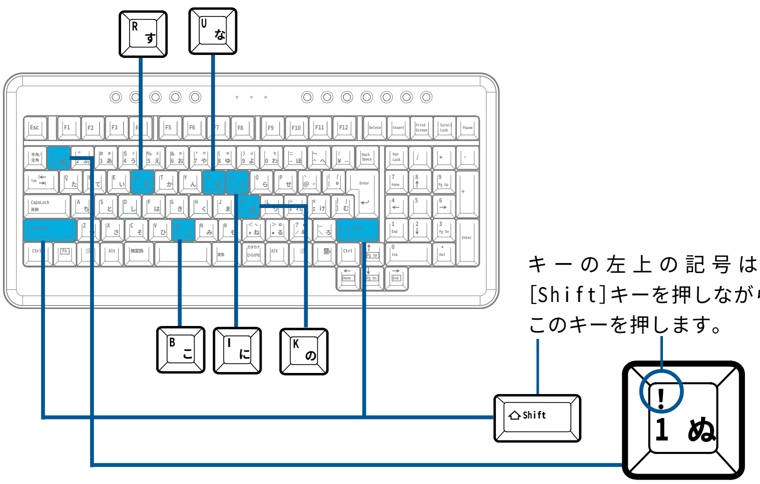
ローマ字入力では、母音と子音を組み合わせたローマ字つづりで入力します。

例 「びっくり!」と入力するとき

1

[B] [I] [K] [K] [U] [R] [I] [!]とキーを押します。

「!」は[Shift]キーを押しながら[1]キーを押します。



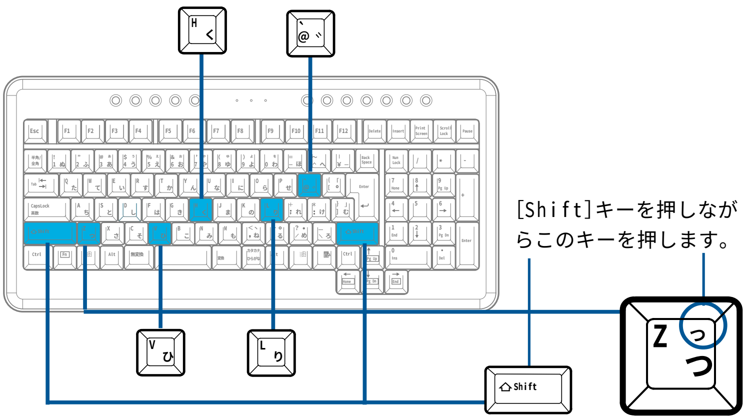
●かな入力の場合

かな入力では、キーボードに刻印されているひらがなを直接押して入力します。

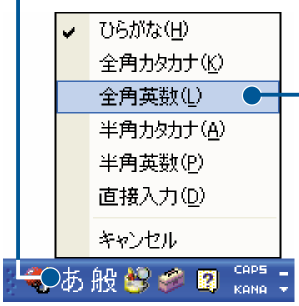
例「びっくり!」と入力するとき

1 [ひ][゛][っ][く][り]とキーを押します。

小さい「っ」は[Shift]キーを押しながら[っ]キーを押します。

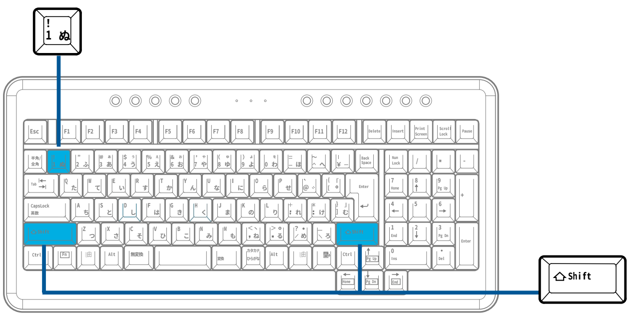


2 言語バーの あ をクリック



3 [全角英数]をクリック

4 [Shift]キーを押しながら[1]キーを押す



日本語を入力する

それでは、日本語入力の練習をしてみましょう。
ここでは、メモ帳を使って日本語を入力します。

メモ帳を立ち上げる

入力の練習をするメモ帳を立ち上げましょう。

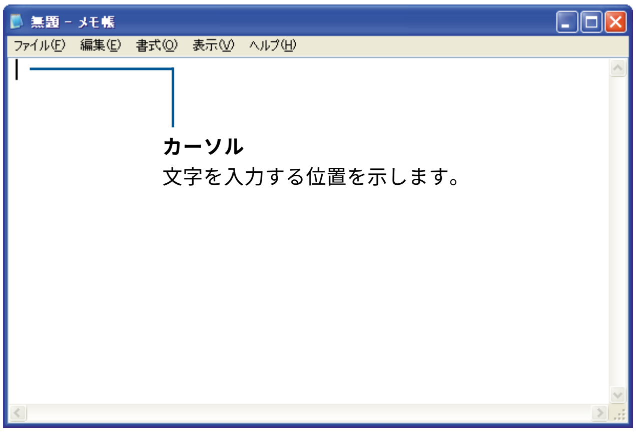
1 [スタート]ボタンをクリック

2 [すべてのプログラム]をポイント

3 [アクセサリ]をポイント

4 [メモ帳]をクリック
▼メモ帳が立ち上がります。





ローマ字入力/かな入力で入力する

「今日から始まるパソコンlife　!」と入力してみます。
自分の入力しやすい方法で練習してください。

●入力方法を確認する

ローマ字入力で入力するときは、ローマ字入力になっているか確かめてください。



この表示がローマ字入力です。
選択されていません。

かな入力で入力するときは、言語バーの KANA をクリックし KANA に変え、かな入力に切り替えてください。



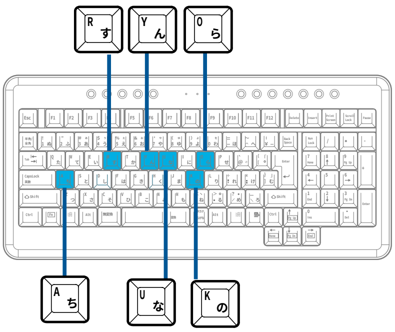
この表示がかな入力です。
選択されています。

●ひらがなを漢字に変換する

ここからは、ローマ字入力とかな入力で入力するキーが異なる場合は、両方のキーの入力のしかたを説明しています。

ローマ字入力の場合

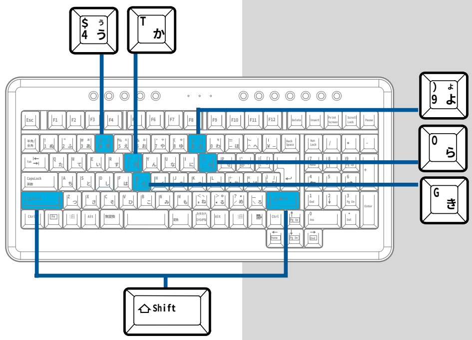
1 [K] [Y] [O] [U] [K] [A] [R] [A] とキーを押す

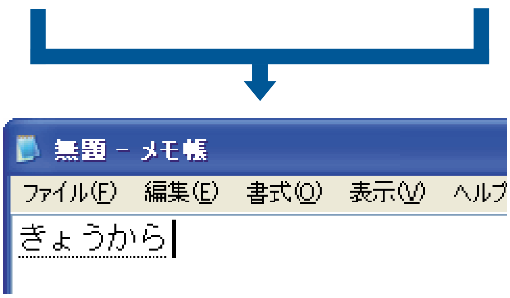


かな入力の場合

1 [き] [ょ] [う] [か] [ら] とキーを押す

小さい「ょ」は[Shift]キーを押しながら[ょ]キーを押します。

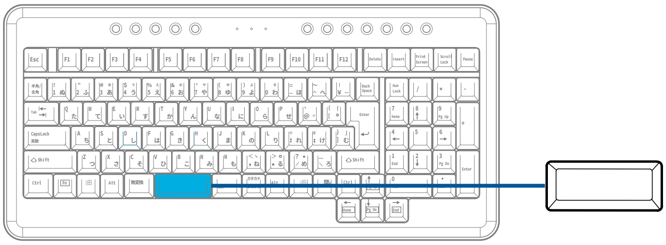


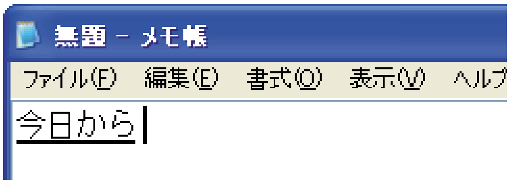


2 [スペース]キーを押す

▼漢字に変換されます。

目的の漢字に変換されないときは、変換されるまで[スペース]キーを押します。

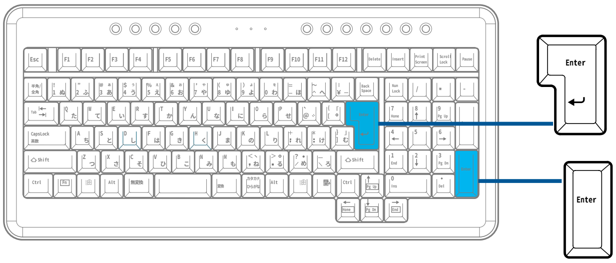


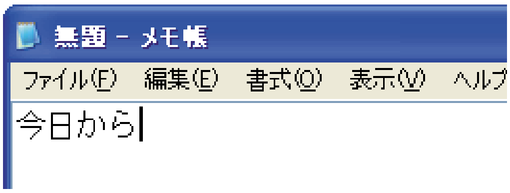


3 [Enter]キーを押す

▼漢字が確定されました。

引き続き「始まる」を入力してみましょう。





ヒント

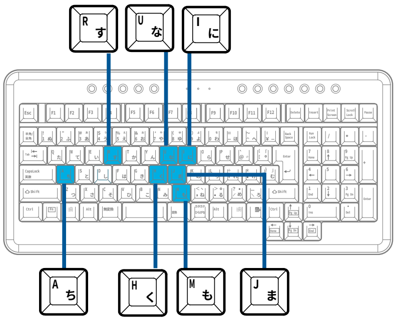
★[スペース]キーを2回押すと、変換候補の一覧が表示されます。続けて[スペース]キーを押すと、次の候補が選択されます。[↑]キーを押すと、前の候補が選択されます。[Enter]キーを押し、選択されている候補を確定します。

ヒント

★[スペース]キーなどを押し、目的の漢字が表示されたときは、続けて読みを入力します。[Enter]キーを押さなくても確定されます。

ローマ字入力の場合

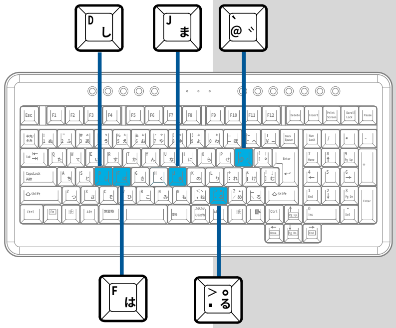
4 [H] [A] [J] [I] [M] [A] [R] [U] とキーを押す

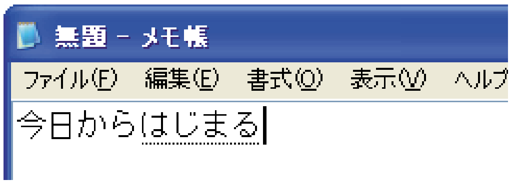


かな入力の場合

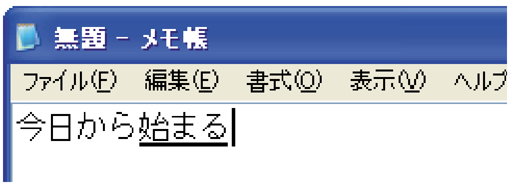
4 [は] [し] [゛] [ま] [る] とキーを押す

「じ」（濁音）は、[し] に続けて [゛] （濁音のキー）を押します。

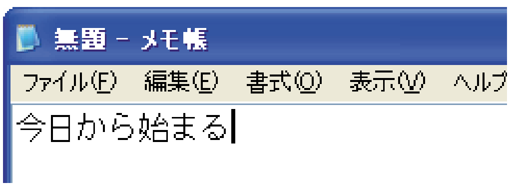




5 [スペース] キーを押す



6 [Enter] キーを押す

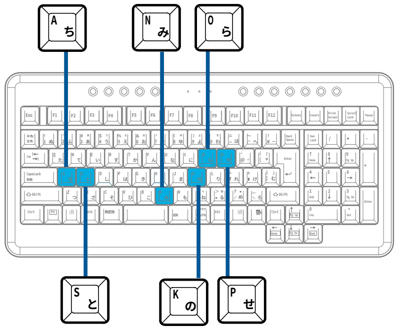


●カタカナを入力する

カタカナは、読みを入力して[F7]キーを押します。

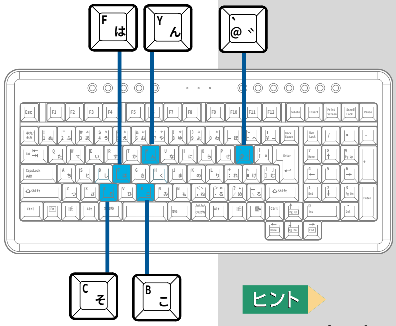
ローマ字入力の場合

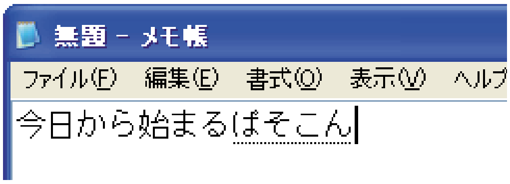
1 [P] [A] [S] [O] [K] [O] [N] [N] とキーを押す



かな入力の場合

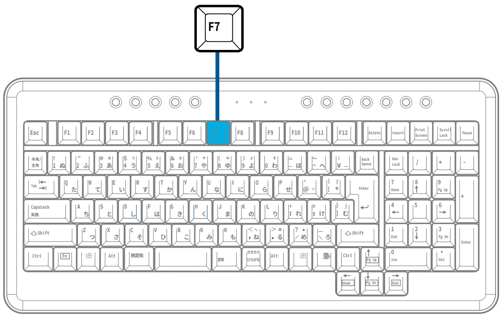
1 [は] [゜] [そ] [こ] [ん] とキーを押す

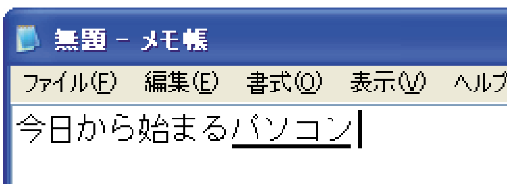




2 [F7]キーを押す

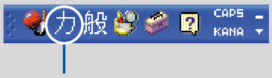
▼カタカナに変換されます。





ヒント

★ローマ字入力でカタカナを入力するときは、[Shift]キーを押しながら、[カタカナ　ひらがな]キーを押します。

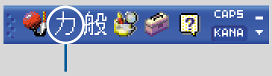


カタカナが入力できます。

ひらがな入力に戻すには[カタカナ　ひらがな]キーを押します。

ヒント

★かな入力で、カタカナを直接入力するときは、[Shift]キーを押しながら[カタカナ　ひらがな]キーを押します。戻すときは、もう一度押します。

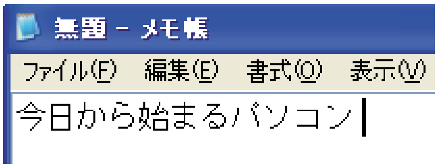


カタカナを入力できます。

ヒント

★「パソコン」など一般的な用語は、[スペース]キーを押しても変換できます。

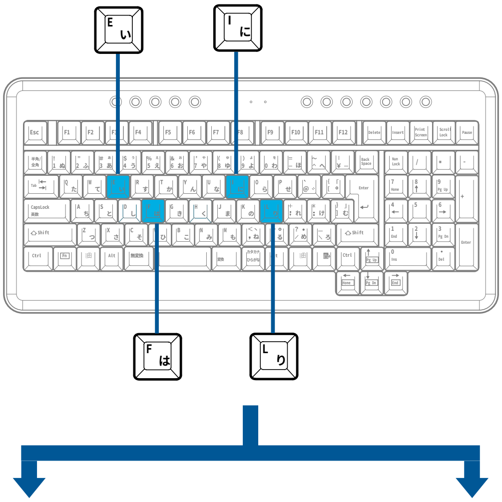
3 [Enter]キーを押す



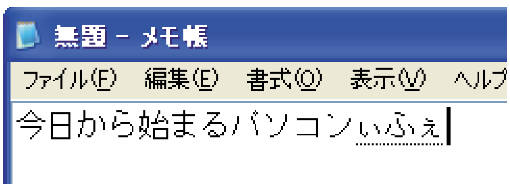
●英字/記号を入力する

英字/記号は、キーを押し、[F9]キーを押します。半角英字にするときは、このあと[F8]キーを押します。

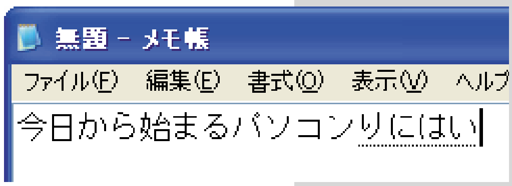
1 [L][I][F][E]とキーを押す



ローマ字入力の場合



かな入力の場合

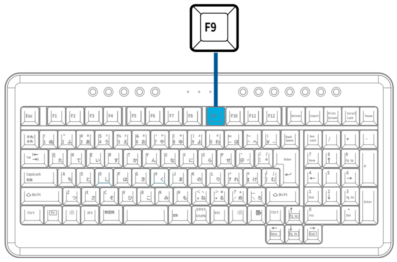


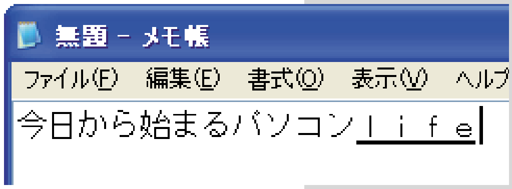
ヒント

★[F9][F8]キーの代わりに[F10]キーを押しても半角英字に変換できます。

2 [F9]キーを押す

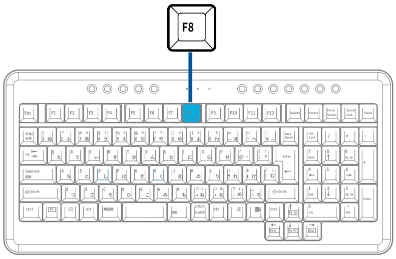
▼全角の「ｌｉｆｅ」に変換されます。

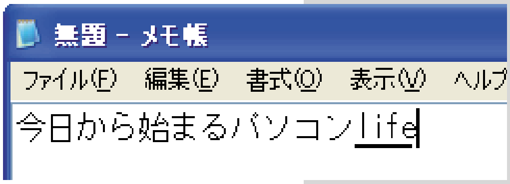




3 [F8]キーを押す

▼半角の「life」に変換されます。

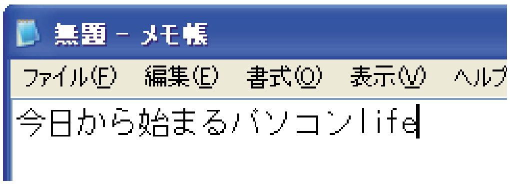




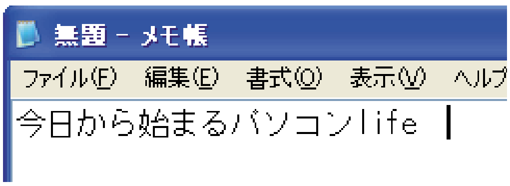
ヒント

★ローマ字入力では、[Shift]キーを使って先頭の英字を大文字で入力すると、自動的に半角英字(「Life」)になります。

4 [Enter]キーを押す

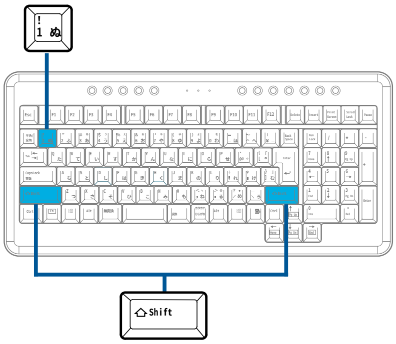


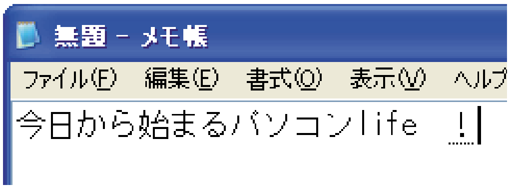
5 [スペース]キーを押す



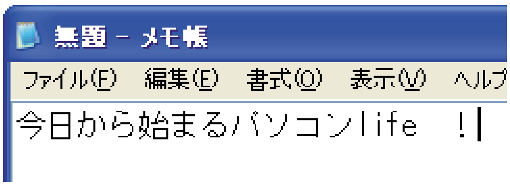
ローマ字入力の場合

6 [Shift]キーを押しながら[!]キーを押す



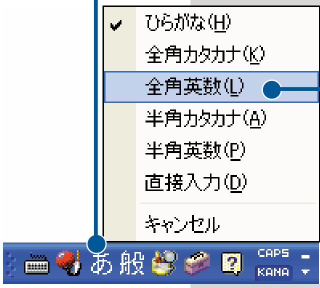


7 [Enter]キーを押す



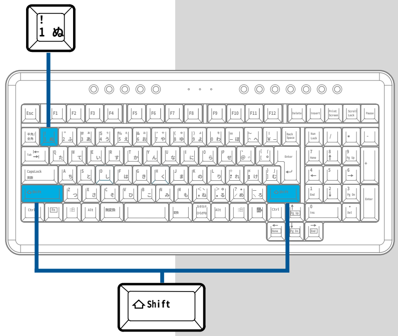
かな入力の場合

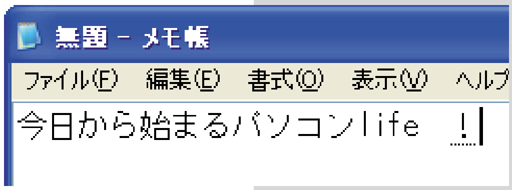
6 言語バーの あ をクリック



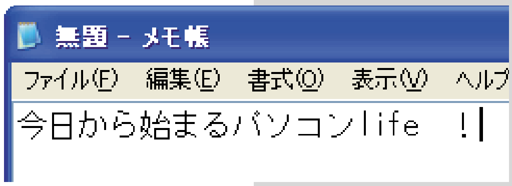
7 [全角英数]をクリック

8 [Shift]キーを押しながら[!]キーを押す





9 [Enter]キーを押す

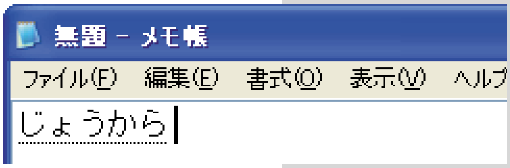


入力中の間違いを修正する

読みを入力中に間違いに気づいたときは、次のように修正します。

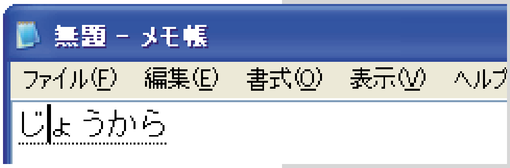
例　「じょうから」を「きょうから」に修正するとき

1 「じょうから」を入力する

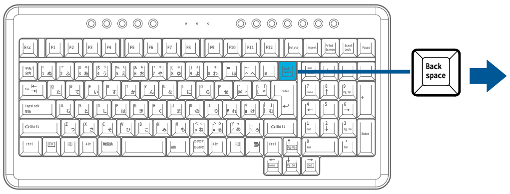


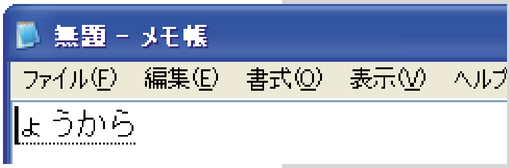
2 [←]キーを4回押す

▼カーソルが「じ」と「ょ」の間に移動します。



3 [Backspace]キーを押す

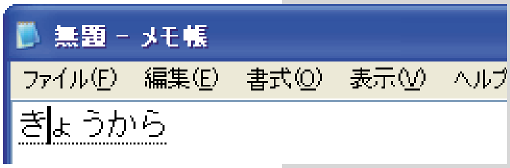




ヒント

★ [Backspace]キーを押すと、カーソルの前(左)の文字が削除されます。[Delete]キーを押すと、カーソルの後(右)の文字が削除されます。

4 「き」を入力する

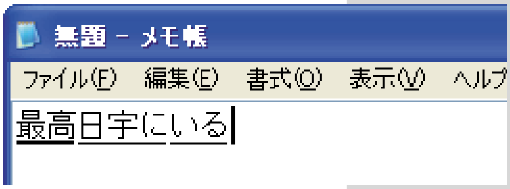


漢字変換後の間違いを修正する

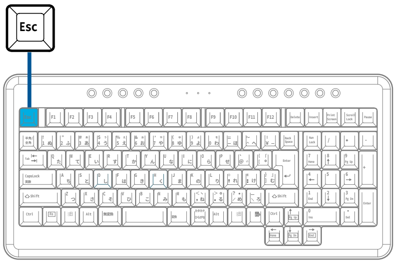
正しい漢字に変換されないときは、次のように修正します。

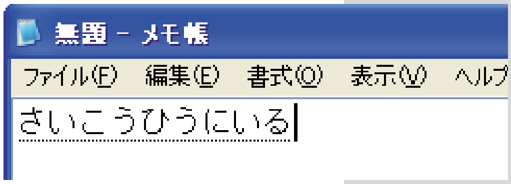
例　「最後方にいる」と入力するところを、「さいこうひうにいる」と入力して［スペース］キーを押した直後に修正するとき

1　「さいこうひうにいる」と入力し、［スペース］キーを押す



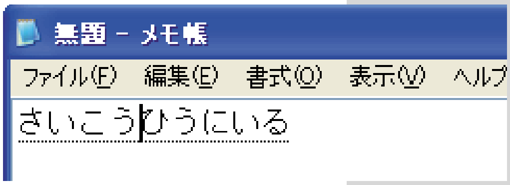
2　［Esc］キーを2回押す



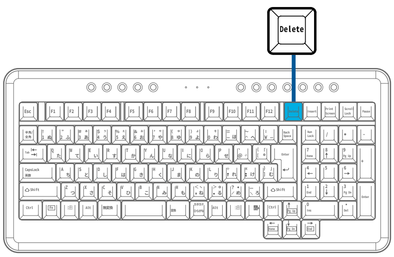


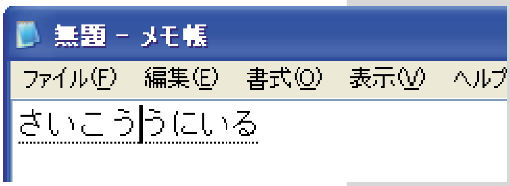
ヒント
★［Esc］キーを押すたびに、先頭の文節から読みに戻ります。

3　［←］キーを5回押す

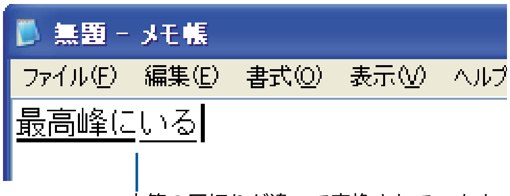


4　［Delete］キーを押す



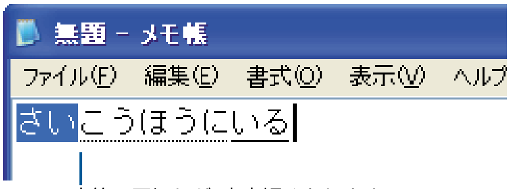


5 「ほ」を入力し、[スペース]キーを押す



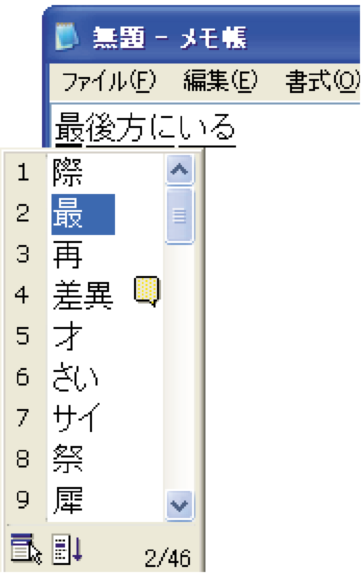
文節の区切りが違って変換されています。

6 [Shift]キーを押しながら[←]キーを5回押す



文節の区切りが5文字短くなります。

7 [スペース]キーを2回押す



8 [Enter]キーを押す

ヒント

★ 文節の区切りを短くするときは[Shift]キーを押しながら[←]キー、長くするときは[Shift]キーを押しながら[→]キーを押します。

★ 読みに戻す文節を選択するときは、[←][→]キーを押します。

2 ローマ字かな対応表

あ行	あ a	い i yi	う u wu whu	え e	お o	ぁ la xa	ぃ li xi lyi xyi いぇ ye	ぅ lu xu	ぇ le xe lye xye	ぉ lo xo
						うぁ wha	うぃ whi		うぇ whe	うぉ who
か行	か ka ca	き ki	く ku cu qu	け ke	こ ko co	きゃ kya	きぃ kyi	きゅ kyu	きぇ kye	きょ kyo
						くゃ qya		くゅ qyu		くょ qyo
						くぁ qwa qa	くぃ qwi qi qyi	くぅ qwu	くぇ qwe qe qye	くぉ qwo qo
	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎぃ gyi	ぎゅ gyu	ぎぇ gye	ぎょ gyo
						ぐぁ gwa	ぐぃ gwi	ぐぅ gwu	ぐぇ gwe	ぐぉ gwo
さ行	さ sa	し si ci shi	す su	せ se ce	そ so	しゃ sya sha	しぃ syi	しゅ syu shu	しぇ sye she	しょ syo sho
						すぁ swa	すぃ swi	すぅ swu	すぇ swe	すぉ swo
	ざ za	じ zi ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya ja jya	じぃ zyi jyi	じゅ zyu ju jyu	じぇ zye je jye	じょ zyo jo jyo
た行	た ta	ち ti chi	つ tu tsu	て te	と to	ちゃ tya cha cya	ちぃ tyi cyi	ちゅ tyu chu cyu	ちぇ tye che cye	ちょ tyo cho cyo
			っ ltu xtu			つぁ tsa	つぃ tsi		つぇ tse	つぉ tso
						てゃ tha	てぃ thi	てゅ thu	てぇ the	てょ tho
						とぁ twa	とぃ twi	とぅ twu	とぇ twe	とぉ two
	だ da	ぢ di	づ du	で de	ど do	ぢゃ dya	ぢぃ dyi	ぢゅ dyu	ぢぇ dye	ぢょ dyo
						でゃ dha	でぃ dhi	でゅ dhu	でぇ dhe	でょ dho
						どぁ dwa	どぃ dwi	どぅ dwu	どぇ dwe	どぉ dwo
な行	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にぃ nyi	にゅ nyu	にぇ nye	にょ nyo
は行	は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひぃ hyi	ひゅ hyu	ひぇ hye	ひょ hyo
						ふゃ fya		ふゅ fyu		ふょ fyo
						ふぁ fwa fa	ふぃ fwi fi fyi	ふぅ fwu	ふぇ fwe fe fye	ふぉ fwo fo
	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びぃ byi	びゅ byu	びぇ bye	びょ byo
						ヴぁ va	ヴぃ vi	ヴ vu	ヴぇ ve	ヴぉ vo
						ヴゃ vya	ヴぃ vyi	ヴゅ vyu	ヴぇ vye	ヴょ vyo
	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴぃ pyi	ぴゅ pyu	ぴぇ pye	ぴょ pyo
ま行	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みぃ myi	みゅ myu	みぇ mye	みょ myo
や行	や ya		ゆ yu		よ yo	ゃ lya xya		ゅ lyu xyu		ょ lyo xyo
ら行	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りぃ ryi	りゅ ryu	りぇ rye	りょ ryo
わ行	わ wa	うぃ wi		うぇ we	を wo	ん n	ん nn	ん n'	ん xn	

注

っ： n 以外の子音の連続も可。
　例： itta → いった

ん： 子音の前のみ n。母音の前は nn または n。
　例： kanni → かんい
　例： kani → かに

ヴ： ひらがなはありません。

付録

2 用語集

英字

■C

[Caps Lock]キー
[Shift]キーを押しながらこのキーを押すと、Caps Lockランプが点灯し、アルファベットの大文字が入力できるようになります。[Shift]キーを押しながら文字キーを押すと、アルファベットの小文字が入力できます。

Caps Lockランプ
[Shift]キーを押しながら[Caps Lock]キーを押すと、点灯します。もう一度押すと、消灯します。
Caps Lockランプが点灯しているときはアルファベットの大文字、消灯しているときは小文字が入力できます。

■N

[Num Lock]キー
このキーを押すと、Num Lockランプが点灯し、テンキーで数字や記号が入力できるようになります。
ノートパソコンの場合は、[Fn]キーを押しながら[ScrLk]キーを押します。

Num Lockランプ
[Num Lock]キーを押すと、点灯します。もう一度押すと、消灯します。
Num Lockランプが点灯しているときは、テンキーの数字や記号が入力できます。Num Lockランプが消灯しているときは、テンキーの数字や記号は入力できません。

■W

Windows
パソコンをわかりやすい方法で操作できるようにしたシステムです。

五十音

■あ

アイコン
アプリケーションやデータなどを絵柄でわかりやすくしたものです。

アプリケーション
パソコンを使って文章を書いたり絵を描いたりするなど、それぞれの目的を行うためのプログラムのこと。応用ソフトやソフト、APなどと呼ばれることもあります。

一括セットアップ
パソコンの動作が不良になったときなどに、買ったときとほぼ同じ状態に戻すこと。同梱の『再セットアップDVD』を使ってセットアップします。

ウィンドウ
Windowsでファイルの中身を見たり、アプリケーションを操作するときなどに開きます。

エクスプローラ
パソコンのファイルなどをツリー形式で見るもの。ファイルの移動・コピー・削除などが行えます。

■か

カーソル
画面の文字や数値を入力できる位置を示します。

かな入力
キーボードに刻印されているひらがなを直接押して入力する方法。「はな」と入力するには、[F は] [U な] とキーを押します。

壁紙
デスクトップの背景に表示する絵や写真のこと。あらかじめ用意されているものや、自分で作成したイラストやデジタルカメラの写真などを表示できます。

キーボード
データを入力するもの。キーボードによっては、ワンタッチでインターネットやメールに接続できます。

クリック
マウスのボタンやポインティングパッドのクリックボタンを1回押すこと。メニューやアイコンなどを選択するときに行います。

クリップボード
データを移動・コピーするために、一時的に保管しておく場所です。

言語バー
日本語入力システムの入力状態などを設定します。

ごみ箱
使用しなくなったファイルなどを入れておくところです。

コントロールパネル
パソコンを使う環境を設定するためのもの。マウスやキーボードの使い方を設定したり、使用しなくなったアプリケーションを削除することができます。

[コンピュータの電源を切る]画面
パソコンの終わり方を選択します。パソコンを終了したり、立ち上げ直したりできます。

コンピューター名
パソコンを識別する名称です。複数の同じモデルのパソコンをLANで接続するときなどに変更する必要があります。

■さ

ショートカット
アプリケーションを素早く立ち上げるためのアイコン。ショートカットアイコンは左下に矢印が表示されます。

スクロール
画面で表示できない内容を流れるように表示することです。

スクロールバー
画面に表示できない内容があるときに表示されます。隠れている部分を表示するときに使います。

[スタート]ボタン
Windowsのいろいろな作業を始めるためのボタン。アプリケーションを立ち上げたり、Windowsを終了することができます。

■た

タスクバー
現在作業中のウィンドウが表示されます。作業を切り替えることができます。

ダブルクリック
マウスのボタンやポインティングパッドのクリックボタンを2回続けて押すこと。ファイルを開いたり、アプリケーションを立ち上げるときに行います。

通知領域
日本語入力インジケーター、現在の時刻や音量の状態などが表示される領域です。

デスクトップ
作業するときに開いたり、[スタート]ボタンなどよく使うものが置かれている机のようなものです。

ドラッグ
マウスのボタンやポインティングパッドのクリックボタンを押しながらマウスカーソルを移動することです。

ドラッグアンドドロップ
アイコンなどを実行したい部分までドラッグし、その部分に重ねてはなすことです。

■な

日本語入力システム

キーボードから入力した情報を、キーに対応するひらがなやカタカナに変えて入力するシステム。代表的なものにMicrosoft社のIMEやジャストシステム社のATOKなどがあります。

■は

背景

デスクトップの背景。絵柄を変えて楽しむことができます。

フォーマット

フロッピーディスクやDVD-RAMなどを使えるようにする処理。初期化ともいいます。

フォルダー

ファイルなどを保管するものです。フォルダーの中にフォルダーを入れて階層的に整理することもできます。

フロッピーディスク

アプリケーションなどで作成したデータを保存しておくディスク。一度保存したデータを消して何回でも保存し直すことができます。

フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクを差し込むところです。

ヘルプ

操作方法や使い方などわからないことを説明します。

ポインティングパッド

ノートパソコンでマウスの代わりをするものです。

ポイント

マウスポインターをあるものに重ねることです。

ホームページ

インターネットに接続すると表示されるページのこと。ホームページはWWW(World Wide Web)を通して世界中に点在しています。ホームページにあるリンクスポットをクリックすると、別のホームページへ次々にジャンプすることができます。

■ま

マイ コンピュータ

パソコンの中身や、パソコンに接続されているものをまとめたものです。

マイ ドキュメント

アプリケーションなどのデータを保存するフォルダー。

マウス

ディスプレイのマウスカーソルを動かし、Windowsなどの各種操作を行います。

マウスポインター
マウスで操作するとき、作業の対象になるものを示すもの。作業によって形が変わります。

メモ帳
文書を作成するWindows標準のアプリケーションです。

■や

ユーザー
パソコンを使う人です。新しいユーザーを作成すると、お互いの秘密を守りながら一台のパソコンを複数の人で使うことができます。ユーザーの種類には、アプリケーションのインストールやユーザー名などを変更できる「コンピュータの管理者」と、一部の操作ができない「制限付きのユーザー」があります。

■ら

ライトプロテクトノッチ
フロッピーディスクやDVD-RAMへの書き込みを禁止する部分です。

ローマ字入力
母音と子音を組み合わせたローマ字つづりで入力する方法。「はな」と入力するには [H く] [A ち] [N み] [A ち] とキーを押します。

さくいん

2

重要なお知らせ

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、禁止されています。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について、万一ご不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・Microsoft、Windowsのロゴは米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。
・CyberSupportは株式会社ジャストシステムの商標です。
・DVDロゴは商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

パソコン入門

初　版　2003年４月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部
〒243-0435　神奈川県海老名市下今泉810番地
お問い合わせ先:安心コールセンタ　0120-8855-96

PROF720P0-1

2

HITACHI
Inspire the Next

Prius
Fモデル

PROF720P0-1

Prius Fモデル

2 パソコン入門

PROF720P0-1